

湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ

第79回国民スポーツ大会

2025

ラグビーフットボール 競技会



2025年10月3日(金) ~ 7日(火)

滋賀県希望が丘文化公園

主催：  公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省

滋賀県・公益財団法人日本ラグビーフットボール協会

国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャットフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャットフィー

「キャットフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャットフィー」に教えてもらっています。

「キャットフィー」と「チャットフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

目次

あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会	会長 遠藤 利明	1
文部科学大臣	あべ 俊子	2
公益財団法人日本ラグビーフットボール協会	会長 土田 雅人	3

歓迎のことば

滋賀県知事	三日月 大造	4
野洲市長	櫻本 直樹	5
湖南市長	松浦 加代子	6
竜王町長	西田 秀治	7
滋賀県ラグビーフットボール協会	会長 大岡 敏孝	8

天皇杯・皇后杯授与規定	9
-------------------	---

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規定	10
---------------------------	----

大会役員	11
------------	----

競技会役員	15
-------------	----

競技役員	18
------------	----

競技補助員・競技会役員・競技会補助員	21
--------------------------	----

総則	22
----------	----

実施要項	41
------------	----

式典次第	48
------------	----

競技日程	49
------------	----

競技組み合わせ表

成年男子	50
女子	51
少年男子	52

参加監督・選手一覧表

成年男子	53
女子	57

少年男子	61
ブロック大会成績表	
成年男子	67
女子	68
少年男子	69
都道府県別（種別）参加人数一覧表	70
年次別成績一覧表	71
セブンズの見どころ（成年男子・女子 7人制）	72
ラグビーフットボール競技の見どころ（少年男子 15人制）	75
競技会場図	79
大会関係機関連絡先一覧	87

あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会

会 長 遠 藤 利 明

約 400 万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第 79 回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年 6 月、14 年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和 21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年 3 月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文 部 科 学 大 臣

あ べ 俊 子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していく素晴らしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。

令和7年7月31日



あ い さ つ

(公財) 日本ラグビーフットボール協会

会長 土田 雅人

「わた SHIGA 輝く国スポラグビーフットボール競技会」が、滋賀県希望が丘文化公園にて盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。本大会におけるラグビーフットボール競技は、成年男子および女子は7人制（前半・後半各7分）、少年男子は15人制（前半・後半各30分）の試合に臨みます。

全国の各ブロック大会予選を勝ち抜き、みごと本大会に出場される選手の皆さんにおかれましては、一人ひとりがフェアプレーに徹し、日頃の鍛練の成果を存分に発揮されますことを期待しています。各チームの健闘を祈り、グラウンド上での熱戦を楽しみにしております。

スピーディーでダイナミックなボール展開が魅力の7人制（セブンス）ラグビーは、夏季オリンピックの正式競技として注目の競技であり、日本は男女ともにメダル獲得を目指して強化を進めております。また15人制ラグビーは、フォワードとバック스가一体となった組織力と、戦術を活かしたチームプレーがみどころです。7人制・15人制ともにフィジカルな戦いに挑む出場選手達へ、温かいご声援をいただきましたら幸いです。

当協会では「ラグビーが、世界一身近にある国へ」をミッションに掲げ、男女日本代表の活躍に向けた国際競技力向上、世界で活躍するレフリーや指導者の育成、ラグビー競技の全国的な普及に日々取り組んでおります。誰もにとってラグビーが身近なスポーツであるために、プレー環境の整備に努め、全国各地のラグビーファミリーと共に、日本におけるスポーツ文化の振興に寄与してまいりたいと考えております。

最後に、本大会の開催にあたり準備にご尽力いただいた滋賀県、公益財団法人滋賀県スポーツ協会、滋賀県ラグビーフットボール協会、試合会場をはじめとする全ての関係者の皆さまのご支援とご協力に心より感謝を申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 三 日 月 大 造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会会長

野洲市長 櫻本 直樹

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」ラグビーフットボール競技会が、全国各地から選手・監督ならびに大会関係者の皆様をお迎えし、ここ野洲市で開催できますことは誠に光栄であり、野洲市民を代表し心から歓迎申し上げます。

野洲市は、滋賀県南部に位置し、北に日本最大の湖である「琵琶湖」を有し、南にはその美しさから「近江富士」とも称される「三上山」を望むまちで、弥生時代に使用された日本最大の「銅鐸」が発掘されたまちでもあります。市内には日本を代表する街道の一つである中山道が通り、江戸時代に朝鮮通信使が江戸へ赴くために通行した朝鮮人街道との分岐点もあります。近年では、京都や大阪といった大都市のベッドタウンとして、また、ものづくり企業の製造・研究拠点が集積するまちとして発展を続けてまいりました。令和 10 年度には県立高等専門学校が開校予定となっており、産業のまちとしてさらなる発展が期待されているところです。

さて、野洲市での国民スポーツ大会（国民体育大会）開催は、今から 44 年前の昭和 56 年に開催された第 36 回国民体育大会「びわこ国体」にさかのぼります。当時は滋賀県希望が丘文化公園にてラグビーフットボール競技が開催されました。今回の国民スポーツ大会では、正式競技 3 競技（県運営競技を含む）、公開競技 1 競技、デモンストレーションスポーツ 2 競技が本市で開催されます。選手・監督の皆様におかれましては、各都道府県の代表として、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮され、実りある大会となりますことを心よりお祈り申し上げます。

また、大会期間中に全国各地からお越しになる皆様を心のこもったおもてなしでお迎えできるよう準備を進めてまいりました。今回の来訪をきっかけに湖国の食や自然の魅力に触れていただくと幸いです。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ湖南市実行委員会

湖 南 市 長 松 浦 加 代 子

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」ラグビーフットボール競技が、ここ滋賀県希望が丘文化公園において、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また、全国各地からお越しいただきました選手・監督や大会関係者の皆様を、湖南市民を代表して心から歓迎申し上げます。

本競技は、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」実行委員会様および滋賀県ラグビーフットボール協会様の主催のもと、競技会場となります滋賀県希望が丘文化公園が所在する野洲市、竜王町、湖南市の 2 市 1 町がおもてなしをはじめ、様々な形で協力し、準備を進めてまいりました。

出場される選手の皆様には日頃の鍛錬の成果を存分に発揮され、熱い戦いを繰り広げられることをご期待するとともに、ご来場いただきました皆様にとって思い出に残る素晴らしい大会となることを心より願っております。

さて、湖南市は、滋賀県南部に位置し、市の南端に阿星山系を、北端に岩根山系を望む丘陵地で、これらの丘陵地に囲まれて市の中央部を野洲川が流れる、水と緑に囲まれた自然豊かなまちです。

古くは近江と伊勢を結ぶ伊勢参宮街道、江戸時代には石部に東海道五十三次の 51 番目の宿場がおかれ、これを中心とした街道の産業や文化が栄えた街並みや、国宝を有する 3 つのお寺「湖南三山」や三雲城跡など豊かな歴史資産を一目見ようとたくさんの人々に訪れていただいています。ぜひこの機会に「湖南市」の魅力を感じていただければ幸いに存じます。

結びに、本大会の開催にご尽力されました関係者の皆様に心から敬意を表しますとともに、選手の皆様の御健闘と大会の御成功を祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会会長

竜王町長 西 田 秀 治

「わた SHIGA 輝く国スポ」ラグビーフットボール競技会が、野洲・湖南・竜王三市町にまたがる、ここ希望が丘文化公園で開催されますことを大変うれしく思います。あわせて、“ようこそ！湖国へ”全国から集われた選手、関係者の皆様を、竜王町民を代表して心より歓迎いたします。

全国各地から集われた選手、関係者の皆様におかれましては、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮され、熱戦を繰り広げられることと存じます。ラグビーは、仲間との絆や信頼を何よりも大切にするスポーツであり、「One for all, All for one」のチームワークの精神は、全員が勝利や共通の目標のために協力する精神を表す言葉で、私たちの地域づくりにも通じるものがあります。

さて、竜王町は、その名の由来にもなる東西2つの里山「竜王山」の山懷に抱かれた沃野に恵まれ「近江米」の生産地として名を馳せています。「アグリパーク竜王」と「竜王かがみの里」の2つの道の駅では地元の新鮮な果樹や農産物、特産品がならび多くの方々にご好評をいただいております。そして、三大和牛として神戸牛や松阪牛と並び賞される「近江牛」発祥の地でもあります。また、古い歴史と恵まれた文化遺産を受け継ぐ町という顔も持ち合わせており、源義経が元服したとの伝承がある東山道（中山道）鏡宿や町内の社寺が有する国宝や重要文化財を一目見ようと多くの人々が訪れています。

大会期間中には、競技会場からも至近にある竜王町に訪れていただき、当町の魅力を堪能し、肌で感じとっていただければと思います。そして、大会の成果とともに、たくさんのお思い出をお土産にお持ち帰りいただければ幸いです。

本大会が、選手の皆様にとってかけがえのない経験となり、観客の皆様にとっても心に残るひと時となりますよう、心より祈念いたします。そして、この大会を契機に、スポーツを通じた交流と地域の活性化がさらに進むことを願っております。

結びに、この大会の開催に当たり、ご尽力をいただきました関係者の皆様に深甚なる敬意を表し深く感謝申し上げます。そして、「ラグビーフットボール競技会」のご成功と選手の皆様のご健闘を祈念申し上げ、歓迎のことばとさせていただきます。



歓迎のことば

滋賀県ラグビーフットボール協会

会長 大岡敏孝

各都道府県の代表チームの皆さま、ようこそ滋賀県にお越しくださいました。

このたび、「わた SHIGA 輝く国スポ ラグビーフットボール競技会」が本県で盛大に開催されますことを、心よりうれしく思うとともに、全国からご参加の選手、関係者の皆さまを心から歓迎申し上げます。

選手の皆さま、そしてご家族、指導者の皆さま、運営にあたってくださいるすべての皆さまに対し、この大会に至るまでのたゆまぬ努力に、心から敬意を表します。ラグビーは単なるスポーツを超え、「One for all, All for one」という精神のもと、仲間を信じ、助け合い、困難に立ち向かう姿勢を育む競技です。このスポーツの精神は、今の時代にこそ必要とされる価値観です。

本大会が、すべての皆さまにとって生涯忘れ得ぬ経験となり、また地域の子どもたちに夢と希望を与える機会となることを願ってやみません。

国は、スポーツを通じた地域活性化、青少年の健全育成、多様性の尊重を重視しております。私も国の政治を担う一員として、スポーツ振興と教育、地域づくりがしっかりと連動するよう、これからも尽力して参ります。

この大会を通して、すべての選手の皆さんが日頃の成果を存分に発揮し、仲間とともに安全で最高のプレーを楽しんでくださることを願っております。そして観客の皆さまには、熱いご声援をお願いいたします。

結びに、大会の成功と、皆さまのご健闘を心よりお祈り申し上げまして、歓迎のごあいさつといたします。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

- 第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。
- 2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。
- 第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。
- 第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。
- (1) 責任をもって保管する。
 - (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
 - (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
 - (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。
- 第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。
- 附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定
昭和45年1月22日一部改定
昭和48年7月10日一部改定
昭和54年5月9日一部改定
平成17年6月16日一部改定
本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。
平成30年4月1日一部改定
令和6年1月1日一部改定

大会役員

(順不同・敬称略)

名誉 会副 顧	會長 會 問	あ遠益室伊岡室櫻笠木旗藤貝多吉上馬千加浅建齋今古田城茂熊藤山今南増船	べ藤子伏藤崎伏井師平生田瀬氣田治場田藤見部藤川城中門野谷田崎西部田	俊利直広雅助由久芳康裕智洋長丈美健敬彰良啓資政直幸知成博則和一彦	子明美治俊一佳香子定之司洋平寿太郎香一出弘太郎久徹文久一巳夫一雄伯彦		中日月川松島塚嶋田原崎木永口里村口野部藤野念川島葉條見村永飼田	不二大喜さや丈めぐみ誠晃志子仁宏也彦正己彦和二おる恵明佳明仁平樹之晃		三河橋坂湯吉久小工室土鬼多上南岡蒔田丸木池園出上大奥田松高山横	宮本元川岡保寺藤城頭賀原本田中石村山谷山口杉沢山子部本橋本尾	恵英聖和成正保信登恒絵和友伸博美成夫之央子信之雄広浩三治	利典子要之美洋子之久紀雄美文章実周博美成夫之央子信之雄広浩三治		森安勝植石浦桐久金石長佐宮大山村中大田布谷酒新井森山松小	岡西田井木保子丸藤藤永野崎村上澤山邊村藤井出山本本西	裕孝砂美陽直日出元洋健美勝り弘美人彦雄祐一彰仁博次幸慎太郎	策之隆実織奈子生澄国子淳司津淳洋衛子弘美行人彦雄一彰仁博次幸慎太郎
---------------	--------------	------------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	--	---------------------------------	------------------------------------	--	---------------------------------	--------------------------------	------------------------------	---------------------------------	--	------------------------------	----------------------------	-------------------------------	-----------------------------------

近藤	藤中	一	幸稔	堂馬	本越	ひさ祐	美希彦	河青	村木	祐章	一泰	渡城	邊戸	浩英	三敏
田藤	本本		武格	小岩	柳元	勝幸	成弘	辛平	木良	秀朝	子治	宮藤	成原	康正	蔵樹
藤大	河原	嘉	朗司	川上	津木	隆妙	子純	佐菊	藤部	廣幸	一新	奈小	良林	久	隆美
小寺	菅澤	正	孝邦	山口	松野	純健	子行	武増	子村		宏子	野矢	中野	和賢	厚彦
金茂	城里	敏	毅孝	浅嘉	野田	敦由	紀子	有北	野村	治裕	子英	上小	野寺	裕和	一郎雄
大こ	やり	隆	史	斎藤	アレックス	井泰	彦地	武北	村浦	展嘉	英人	宮小	本椋	正明	宏清
目伊	藤森	信定	勉子	草鈴	野木	聖大	地泰	杉宮	本間	和恒	靖也	小永	浜澤	祐俊	子二
有坂	田田	東直	志治	三金	丸	和裕	子文	仲富	山道	達英	明二	川馬	合場	益正	弘也
藤砂	岡田	良章	男満	千永	谷野	玄喜	一郎次	安中	村砂	真弘	威成	河牧	島田	雅善	人弘
豊村	井田	幸幸	一郎馨	大久	保川	裕美	子生	真世	耕羽	秀知	樹也	土笹	川城	光拓	英也
町番	匠			荒吉	村藤	祐伸	浩治	小北	村野	元英	裕世	大熊	井川	和俊	彦人
寶鶴	田本	富	博	遠岡	藤本	達多	加二	大花	角野	秀元	剛章	新阿	谷田	八守	朗一
福山	口	義隆	俊泉	杉中	谷橋	昭嗣	誠太郎	高齋	藤山	達正	純義	伊池	藤宗	誠孝	也昌
田西	脇崎	知岩	男博	林村	岡部	生益	直	丸後	藤山	正祥	俊郎	越模	田石	賢康	實吾
宮荻	大塚	斐城	デ二一	服麻				山日	隈			大塩	田		一
大甲															
玉															

[illegible]

委	員	平	野	了	高	橋	聖	一	吉	村	政	弘	若	月	等
		松	本	康	福	士	幸	洋	栗	原	崇	崇	細	野	史
		渡	邊	圭	佐	久	裕	司	品	田	奧	義	濱	野	勉
		寺	澤	淳	黒	川	重	男	舟	喜	信	生	高	野	修
		中	梶	秀	安	藤	正	美	加	藤	憲	二	宮	川	輔
		鈴	木	章	川	口		巖	和	田		潔	岡	泉	茂
		田	口	祐	平	井	宏	治	岸	川	剛	之	西	原	斗
		菅	原	幸	高	橋		昇	長	南	哲	生	衛	藤	司
		渡	辺	雄	三	井	千	壽	鈴	木	信	吾	山	中	史
		井	本	亘	関	根	明	子	中	山	二	三	越	前	浩
		吉	田	美	杉	本	好	二	東	野	眞	理	川	口	三
		金	子	裕	野	口	友	里	品	治	恵	子	富	澤	也
		政	岡	大	坊		百	花	小	河	百	映	田	口	紀
		寺	垣	介	田	中	遥	大	宇	高	章	弘	近	藤	潤
		南	野	広	池	本	佳	子	横	江	弘	昭	沼	波	輝
		門		仁	清	水	直	敦	高	井	和	紀	見	田	紀
		加	藤	樹	鈴	木		規	瀬	谷	尚	男	大	貫	輔
		太	田	美	高	野	正	暢	岩	埜	直	史	深	谷	紀
		金	田	人	新	保		行	戒	田	由	香	児	玉	香
		村	松	也	井	澤	克	司	林		剛	史	稻	葉	伸
		杉	浦	紀	藤	田	隆	浩	曾	我		学	木	原	也
		高	橋	二	吉	村	宗	子	中	嶋	純	也	前	田	博
		松	本	正	松	本	綾	行	田	口	新	幸	河	口	史
		久	米	成	高	田	孝	成	辻	岡	英	良	前	田	朗
		笠	井	行	尾	鷺	一	和	松	山	度	史	濱	本	宏
		吉	野	郎	横	山	美	哉	山	元	尚	也	宮	城	人
		高	野	洋	遠	藤	信	司	千	葉	雅	之	菅	間	晃
		須	藤	司	角	田	眞	洋	柄	澤	宏	稔	竹	内	和
		東	瀬	人	酒	井	雅	彦	碓	井		弘	武	田	巳
		井	上	哲	今	後	元	守	沼	田	守	彦	田	部	門
		竹	内	勝	松	井		治	吉	岡	直	一	刈	谷	孝
		寺	崎	已	荒	木	健	也	平	江	公		黒	木	淳
		渡	嘉	敷	綾	部	吉								一郎

競 技 会 役 員

(順不同・敬称略)

名 譽 会 長	三 日 月 大 造								
会 長	土 田 雅 人								
副 会 長	浅 見 敬 子	木 下 康 司	清 宮 克 幸	水 越 豊					
	大 岡 敏 孝	河 本 英 典	辻 睦 弘						
顧 問	津 軽 敦 志	大 矢 保	白 根 敬 介	守 屋 守 武					
	三 浦 廣 己	遠 藤 靖 彦	佐 々 木 彰	幡 谷 定 俊					
	吉 羽 茂	中 澤 則 行	小 林 哲 也	瀧 田 敏 幸					
	海 老 原 洋 一	角 田 誠	中 谷 真 一	佐 々 木 祥 二					
	寺 尾 政 宏	安 村 正 樹	紐 野 義 昭	藤 尾 秀 樹					
	柳 弘 之	高 岡 義 伸	鈴 木 英 敬	田 代 正 美					
	橋 本 光 夫	天 野 寛 之	田 中 康 憲	土 佐 敏 太 郎					
	瀬 越 正 敬	川 部 洋	原 拓 也	柴 田 和 正					
	高 場 敏 雄	中 村 龍 夫	磯 崎 仁 彦	小 林 信 行					
	赤 松 民 康	中 谷 元	荒 木 英 二	原 田 寿 雄					
	衛 藤 正 雄	一ノ宮 博 幸	河 津 龍 治	石 田 喜 克					
	渡 辺 丈	安 村 光 滋	目 片 信 悟	村 井 泰 彦					
参 与	赤 井 康 彦	有 村 國 俊	井 狩 辰 也	今 江 政 彦					
	岩 崎 和 也	小 河 文 人	小 川 泰 江	奥 村 芳 正					
	海 東 英 和	加 藤 誠 一	河 井 昭 成	川 島 隆 二					
	河 村 浩 史	桐 田 真 人	九 里 学	桑 野 仁					
	駒 井 千 代	佐 口 佳 恵	重 田 剛	柴 田 栄 一					

	柴 田 清 行	清 水 鉄 次	清 水 ひ と み	白 井 幸 則
	周 防 清 二	菅 沼 利 紀	田 中 英 樹	田 中 誠
	田 中 松 太 郎	谷 成 隆	谷 口 典 隆	富 波 義 明
	中 川 雅 史	中 沢 啓 子	中 山 和 行	野 田 武 宏
	節 木 三 千 代	本 田 秀 樹	村 上 元 庸	木 沢 成 人
	森 重 重 則	土 井 真 一	窪 田 知 子	野 村 早 苗
	塚 本 晃 弘	森 和 之	岸 本 織 江	東 勝
	白 井 稔	園 田 三 恵	松 田 千 春	東 郷 寛 彦
	中 村 守	中 村 達 也	山 田 忠 利	奥 山 光 一
	岡 田 暁 人	中 田 佳 恵	伊 吹 信 人	北 川 純 二
	前 川 誠	藤 原 久 美 子	正 木 隆 義	保 田 誠
	小 林 雅 史	池 内 久 晃	奥 村 恭 弘	小 野 田 昭 英
	尾 形 文 仁	土 屋 勝	青 山 三 四 郎	西 山 栄 二
	高 橋 祥 二 郎	猪 飼 敏 之	市 田 良 夫	藤 堂 寛
	野 村 昌 弘			
委 員 長	岩 渕 健 輔			
副 委 員 長	佐 野 博 之	青 木 克 憲	松 田 満	
委 員	Mark Egan	石 原 直 子	江 田 麻 季 子	香 川 あ か ね
	御 領 園 昭 彦	斎 木 尚 子	境 田 正 樹	座 間 美 都 子
	鈴 木 彰	玉 塚 元 一	中 村 明 彦	浜 本 剛 志
	松 原 忠 利	三 好 美 紀 子	安 田 結 子	山 神 孝 士
	上 田 恭 平	岩 下 数 也	津 田 栄	北 居 伸 顕
	大 澤 憲 司	重 田 亮 二	片 山 浩 二	宮 木 暢 久

入江直樹	高山昌奎	森祥太郎	恩田貴司
奥村亮	宇野翔平	高尾陽平	中澤勝
川崎哲史	布施将志	門久仁裕	打谷桂子

競 技 役 員

(順不同・敬称略)

総 務 委 員 長	大 岡 敏 孝			
総 務 副 委 員 長	久 木 元 孝 行	伊 藤 隆	小 野 田 昭 英	
総 務 委 員	土 屋 勝	奥 村 恭 弘	九 里 学	清 哲 夫
	野 村 聡	川 崎 哲 史	青 山 三 四 郎	桐 田 真 人
	津 田 栄	渡 辺 健 一	青 山 泰 久	
規 律 委 員 長	御 領 園 昭 彦			
規 律 副 委 員 長	大 原 俊 一	中 島 誠 一 郎	尾 形 文 仁	
規 律 委 員	海 老 原 洋 一	松 原 忠 利	萩 本 光 威	北 居 伸 顕
審 判 委 員 長	大 槻 卓			
審 判 副 委 員 長	久 保 修 平	松 岡 辰 也	高 尾 陽 平	
審 判 委 員	松 本 睦	岩 田 靖 浩	池 田 韻	植 森 建 次
	平 川 哲 也	手 束 伊 吹	大 内 想 太	山 谷 亮 介
	水 谷 元 紀	近 藤 雅 喜	林 龍 太 郎	東 村 侑 真
	稲 西 輝 紀	南 藤 辰 馬	飯 田 真 治	西 峰 謙 二 郎
	延 原 梨 輝 翔	立 川 誠 道	田 村 智 章	山 口 竜 弥
	伊 藤 皓 史	紀 太 隆 盛	長 谷 川 雄 亮	福 元 志 郎
	金 谷 俊 明	西 本 武 史	加 藤 悠	堀 北 紘 輔
	平 昭 功 太	川 村 一 樹	糸 井 拓 哉	大 川 貴 史
	布 施 将 志	平 塚 智 紀	佐 竹 鉄 平	安 澤 俊 紀
	西 川 誠 人	北 川 尚	竹 口 毅	栗 山 聖 史
	前 田 良 平	松 田 暢 祐	榎 本 進 二	富 元 崇 宏
	川 端 将 之			

總合成績計算委員長	岸川剛之			
總合成績計算副委員長	奥村亮			
總合成績計算委員	梶川宗親	大川智由	田中愛莉	
	畠中豊	玉井康弘		
競技委員長	松田満			
競技副委員長	石井泰三	岩下数也	上田恭平	
競技委員	高野敬一郎	宮崎和哉	荒井公希	緋田政人
	天野寛之	山口優	宮本和則	牟田口享司
	狩野雅史	小宮山彰人	武士保真司	服部慎吾
	薬師寺利弥	東谷康平	宇野翔平	坪井翔
	増井聡	重田亮二	佐藤広大	大澤憲司
	中津留英世	中屋孝弘	大西浩代	山中利正
	若松徹	真鍋憲史郎	利光堅太郎	曾根博昭
	法土賢治	松田剛	上田純平	近藤恭士
	森下大地	岡田一樹	石黒樹	眞野祐至
	東田隆伸	仲江道人	西川成治	梶井孝訓
	堀北和宏	堀北理志	奥村太陽	山本圭佑
	田中文啓	林匠美	宇野隼平	岡村淳史
	安田一成	植村元泰	浅井智久	奥村惇大
	坂本潤	花房大祐	尾崎翔太	
記録報道委員長	片山浩二			
記録報道副委員長	宮木暢久	入江直樹		
記録報道委員	酒井博達	長手信行	川崎哲也	疋田昭
	福原茂	内田伸一	中村定利	小嶋嘉行
	山崎達也	元藤全紀	東野裕一	柳原和範

		勝野 さおり	勝野 真	本郷 秀具	池端 聡
		平田 永文	浅井 克一	高崎 聡美	高崎 和也
		竹田 佳史	稲木 妙子	稲木 修	長手 淳子
		中川 裕圭	奥山 晃輔	高木 信寿	福森 亮介
		堀 麻由美	堀 大将	松村 洋行	芳村 将太郎
		杉谷 亜香里	今吉 紀子	内野 浩平	市木 長
		市木 ゆかり	谷山 亜美	星野 泰志	田村 優也
		藤田 寿	奈良 慶一		
医 務 委 員 長		高山 昌奎			
医 務 委 員		金井 俊平	樫原 祐市	岡 隆紀	浅利 建吾
		朴 正勝	長嶋 秀明	西地 稔幸	安川 大貴
会 場 主 任		森 祥太郎	清水 誠		
放 送 主 任		恩田 貴司	前川 雅昭		
放 送 委 員		白井 志穂	松田 里紅	若岡 聡子	中村 優愛
		横江 琥珀			
救 護 主 任		中 澤 勝	西山 栄二		
救 護 委 員		平井 美帆	田中 幸恵		

競 技 補 助 員

(順不同・敬称略)

滋賀県立膳所高等学校

滋賀県立石山高等学校

滋賀県立瀬田工業高等学校

滋賀県立八幡工業高等学校

滋賀県立玉川高等学校

比叡山高等学校

光泉カトリック高等学校

学校法人滋賀学園滋賀学園高等学校

競 技 会 係 員

滋賀県実施本部職員一同

競 技 会 補 助 員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会運営ボランティア一同

大会実施要項

総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技（7 競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストラレーションスポーツ（26 競技）

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウエルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカラム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレーボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3（初代・二代目）

(4) 特別競技（1 競技）

高等学校野球

2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技（15 市、4 町：計 19 市町）

会 期	会 場 地
2025年 9 月28 日（日） ～10月 8 日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年 9 月 6 日（土） ～ 9 月15 日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※ 水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場地で実施
2025年 9 月21 日（日） ～ 9 月25 日（木） 〔 5 日間〕	東近江市、京都府向日市 ※ 自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（7 市：計 7 市町）

会 期	会 場 地
2025年 8 月23 日（土） ～ 9 月21 日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストレーションスポーツ（13 市、1 町：計 14 市町）

会 期	会 場 地
2025年 4 月12 日（土） ～ 9 月14 日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(イ) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(ロ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ハ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ハ)b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚または離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帯同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校

の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
種別	4 人以下	24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点
	5 人以上 7 人以下	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	15 点	10 点	5 点
	8 人以上	64 点	56 点	48 点	40 点	32 点	24 点	16 点	8 点
種目	—	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

〔注〕 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

(1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第 1 位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3) 各正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

(4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5) 各競技の各種別および各種目などの第 1 位から第 8 位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に 1 枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
2025 年 8 月 20 日 (水) 【12 競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025 年 9 月 4 日 (木) 【27 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3, 0 0 0 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6, 0 0 0 円

〔注〕 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025 年 9 月 5 日（金）

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上の場合、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満の場合、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。
なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県 100 名以内、宮崎県および長野県 60 名以内、群馬県および島根県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 AD カードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者には AD カード（Accreditation Card）を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報および肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載

(イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載

(エ) 大会関連ホームページへの掲載

(オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載

(ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。

なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

- (7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員ならびにその他選手団役員とする。

- (2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

- (3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ

通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

(1) 環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

(2) おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

(3) 誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

(1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項〔国民スポーツ大会開催基準要項第 8 項第 1 号および第 10 項第 4 号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第 3 項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の 4 月 30 日（冬季大会は前年の 4 月 30 日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1 回につき 2 年以上連続とし、利用できる回数は 2 回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1－③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－2)－②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者について

は、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学して

いる実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

- ＜例＞
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

実 施 要 項

1 期 日 2025 年 10 月 3 日（金）から 10 月 7 日（火）まで（5 日間）

種 別	10月 3 日 （金）	10月 4 日 （土）	10月 5 日 （日）	10月 6 日 （月）	10月 7 日 （火）
成年男子				予選プール/ 決勝トーナメント	決勝トーナメント
女 子		予選プール/ 決勝トーナメント	決勝トーナメント		
少年男子	1 回 戦	2 回 戦		準 決 勝 5・7 位決定戦	決 勝

2 会 場 野洲市（成年男子・女子） 滋賀県希望が丘文化公園陸上競技場 （少年男子） 滋賀県希望が丘文化公園球技場 滋賀県希望が丘文化公園陸上競技場

3 種別及び参加人数

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合 計（人）
成年男子	1	10	12	132	552
女 子	1	10	12	132	
少年男子	1	23	12	288	

（注）成年男子については、監督が男子の場合、選手を兼ねることができる。

女子については、監督が女子の場合、選手を兼ねることができる。

4 競技上の規程及び方法

（1） 2025 年度版 World Rugby 競技規則にて実施する

- ・少年男子 高体連主催の大会におけるフロントローの入替に準ずる。

交替/入替のプレーヤー数は 8 名以内とする。

フロントローについては 3 名まで、その他のプレーヤーについては 5 名まで入替できる。

フォワードのプレーヤーがシンビンもしくは退場で 1 名少なくなった場合は 7 人でスクラムを組むか 8 人で組むかをレフリーはチームに確認をする。

バックスのプレーヤーの場合は 8 人でスクラムを組まなければならない。

- ・成年男子・女子 交替/入替の回数は延長戦も含み、5 回以内とする。

（2） 試合時間は、下表のとおりとする。

種 別		前 半	ハーフタイム	後 半
成年男子	7 人制	7 分	2 分 以 内	7 分
女 子	7 人制	7 分	2 分 以 内	7 分
少年男子	15 人制	30 分	5 分 以 内	30 分

(3) 成年男子の試合形式

第1日目は1プール3チームの総当り戦による予選プール方式（計4プール）と予選プールにおいて各プール2位以内となった8チームによるトーナメント方式1回戦とする。

第2日目は予選プールにおいて各プール2位以内となった8チームによるトーナメント方式の順位決定戦とする。

ア 予選プール

予選プールにおける各プールの順位の決定は、各プール全試合の勝ち点の合計により決定する。各試合の勝ち点は、勝ち3点、引き分け2点、負け1点、棄権0点とする。なお、予選プール終了時点で、勝ち点と同じ場合は、下記の順序に従い順位を決める。

(ア) 予選プール全試合の得点数と被得点数の差が最も大きいチームを上位とする。

(イ) 予選プール全試合のトライ数と被トライ数の差が最も大きいチームを上位とする。

(ウ) 予選プール全試合で得点数が最も多かったチームを上位とする。

(エ) 予選プール全試合でトライ数が最も多かったチームを上位とする。

上記基準を用いてもなお順位が付けられない場合は抽選で順位を決める。

イ 順位決定トーナメント戦

順位決定トーナメント戦において前半終了時点で同点の場合は、延長戦により勝敗を決定する。延長戦に入る前に、レフリーは試合前と同じようにトスを行う。延長戦は試合終了後の1分後に始まり、5分間のピリオドで行われる。各ピリオド終了後にエンドを入れ替え、ハーフタイムはとらない。どちらかのチームが得点（ドロップゴール、ペナルティゴール、またはトライ）するまで5分間のピリオドを繰り返す。

(4) 女子の試合形式

第1日目は1プール3チームの総当り戦による予選プール方式（計4プール）と予選プールにおいて各プール2位以内となった8チームによるトーナメント方式1回戦とする。

第2日目は予選プールにおいて各プール2位以内となった8チームによるトーナメント方式の順位決定戦とする。

ア 予選プール

予選プールにおける各プールの順位の決定は、各プール全試合の勝ち点の合計により決定する。各試合の勝ち点は、勝ち3点、引き分け2点、負け1点、棄権0点とする。なお、予選プール終了時点で、勝ち点と同じ場合は、成年男子の決定方法に準ずる。

イ 順位決定トーナメント戦

成年男子の順位決定トーナメント戦に準ずる。

(5) 少年男子の試合形式

トーナメント方式とする。

トーナメントにおいて、規定時間内に、同点のため次の試合への出場チームが決まらない場合及び順位を決めなければならない場合、次の方法で決める。

ア 総トライ数の多いチームを上位とする。

イ 総トライ数も同じ場合は、ペナルティトライ数の多いチームを上位とする。

ウ 総トライ数もペナルティトライ数も同数の場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

エ 上記の方法で決定できない時は、抽選によって次回への出場または順位を決める。

オ 決勝戦の場合は上記の定めにかかわらず、両チーム優勝とする。また、5・7位決定戦で同点の場合、上記の定めにかかわらず、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(6) 雷等、荒天時等における「中断」「再開」「勝敗」について

試合中に落雷（雷鳴・雷光）が発生した場合、直ちに試合を中断させる。中断ならびに再開の判断は競技担当責任者を中心に、気象庁から発表される気象警報を確認し、大会関係者と協議し決定する。

再開の判断は、中断後概ね 30 分後を目途とする。

チームのウォーミングアップ時間を十分に配慮した上で、試合再開時刻を決定する。

試合が中断し再開出来ないと判断した場合、以下の方法で勝者を決定する。

ア 成年男子・女子：予選プール

(ア) 中断時に前半が終了していない場合であっても試合は成立し、中断時の得点を有効とする。

(イ) 中断時に前半が終了しておらず、且つ中断時の得点が同点の場合は引き分けとする。

(ウ) 後半途中で中断した場合は、試合は成立し、中断時の得点を有効とする。

(エ) 再度中断した場合は(ア)、(イ)、(ウ)を適用する。

イ 成年男子・女子：決勝トーナメント戦、少年男子

(ア) 中断時に前半が終了していない場合であっても試合は成立し、中断時の得点を有効とする。

(イ) 中断時に前半が終了しておらず、且つ中断時の得点が同点の場合は引き分けとし抽選によって次回戦への出場を決定する。

(ウ) 後半途中で中断した場合は、試合は成立し、中断時の得点を有効とする。

(エ) 再度中断した場合は(ア)、(イ)、(ウ)を適用する。

5 予選方法

(1) 競技規則、罰則、参加資格等については、本大会に準ずる。

ア ブロック大会の日程、会場の決定

各種別のブロック大会の日程、会場は当該ブロック大会を統轄する協会長から公益財団法人日本ラグビーフットボール協会長に報告する。

イ 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会では、7・8月をシーズンオフと定めているので、この期間に試合を行うことは適切でないが、国民スポーツ大会のブロック大会を行うため、やむを得ず特例を認める。ただし、事故防止の観点から試合開始時刻については、午前、午後の適切な時間帯を選び慎重に行うこと。

上記の理由で少年男子は決勝も含め、前後半 25 分ハーフで実施することとする。

(2) ブロック大会申込み方法

各都道府県ラグビーフットボール協会は、基礎となる選手（予備登録選手を含む）成年男子及び女子 35 名以内、少年男子 50 名以内を所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、当該ブロック大会参加申込締切日までに申し込む。

(3) チーム編成

単独、補強及び選抜を問わず、チーム名は都道府県名を冠すること。

(4) 女子

ブロック大会がやむを得ず実施できない場合は、ブロック大会開催県スポーツ協会（実行委員会）、開催県ラグビーフットボール協会、管轄の地域ラグビーフットボール協会（三支部協会）及び公益財団法人日本ラグビーフットボール協会と協議の上、推薦で決めることができる。

(5) ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年 男子	女子	少年 男子
北海道	北海道	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	2
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	1	1	1
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	1	1	1
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	1
近 畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	1	1	1
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1	1	1
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	1
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2	2
開催県	滋賀	1	1	1
計		12	12	12

(6) 予選会の結果報告

ブロック大会の結果は、それぞれ主管した都道府県ラグビーフットボール協会が 2025 年 9 月 1 日（月）までに公益財団法人日本ラグビーフットボール協会宛報告すること。

(7) 本大会は、「令和 6 年度国民スポーツ大会ラグビーフットボール競技」での各種別（成年男子・女子・少年男子）の上位順に 4 都道府県をシードする。

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるもののほか次による。

(1) 少年男子

高等学校在学中の生徒は、所属長（居住地を示す現住所によるもののほかは都道府県ラグビーフットボール協会長）が、人物、身体、学業など適当と認めたものとする。

(2) 女子

高校 1 年生を含む 2010 年 4 月 1 日以前に生まれた者。

高等学校在学中の生徒は、所属長（居住地を示す現住所によるもののほかは都道府県ラグビーフットボール協会長）が、人物、身体、学業など適当と認めたものとする。

(3) 監督

チームの監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ラグビーフットボールコーチ 3（公益財団法人日本ラグビーフットボール協会強化コーチ）、公認ラグビーフットボールコーチ 4 のいずれかの資格を有する者とする。

(4) その他

公益財団法人日本スポーツ協会規定及び公益財団法人日本ラグビーフットボール協会選手・役員規定に違反するものは参加できない。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合

計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子 女 子	女 子	各種別とも 1 位 40 点、2 位 35 点、3 位 30 点、4 位 25 点、5 位 20 点、6 位 15 点、7 位（2 チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。
少 年 男 子		1 位 64 点、2 位 56 点、3 位（2 チーム）各 44 点、5 位（2 チーム）各 28 点、7 位（2 チーム）各 12 点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

*少年男子 5・7 位決定戦 2 試合引き分けの場合、4 チームに各 20 点を与える。1 試合勝敗が付き 1 試合が同点の場合、勝者チームに 28 点、敗者チームに 12 点、引き分けのチームには各 20 点を与える。

*成年男子・女子 同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。
なお、得点は次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第 1 位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第 1 位から第 7 位（2 チーム）までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

総則 8 に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025 年 9 月 4 日（木）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手変更は、疾病、傷害等及び特別な場合は認める。又、監督変更は、第 6 項(3)の条件を満たしていることとする。なお、選手・監督変更とも代表者会議の決定をもって最終とする。

ア 提出期限 成年男子 2025 年 10 月 5 日（日）
女 子 2025 年 10 月 3 日（金）
少年男子 2025 年 10 月 2 日（木）

イ 提出先

- (ア) 〒107-0062 東京都港区南青山 1 丁目 1-1 新青山ビル 東館 5 階
公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
TEL 090-3581-6777 FAX 03-5775-5034
MAIL t-kref@agate.plala.or.jp
- (イ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目 2 番 1 号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係)
TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836
MAIL kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp
- (ウ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目 2 番 1 号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 県運営競技係)
TEL 077-528-3695 、080-1589-1157 FAX 077-528-4836
MAIL rugby-football@pref.shiga.lg.jp

なお、(ア)～(ウ)について原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、上記への提出後、別途、所定の手続きにより、参加申込み情報を修正すること。

(4) 問合わせ先

上記(ア)(イ)(ウ)参照

10 参加上の注意

- (1) 少年男子は、全国高等学校体育連盟ラグビーフットボール専門部が定める「プレーヤーの服装規定」に準ずること。
- (2) 女子は、必ずマウスガード、歯を保護するものの着用を義務とすること。また、19 歳未満の選手には、ヘッドギア（WR のマークがついたもの）着用も義務とすること。
なお、競技規則はワールドラグビー制定の『2025 年度 7 人制競技規則』を適用するが、安全面を考慮し、スクイズボールや危険とみなされたプレーにおいてはレフリーの判断でとめる場合がある。
- (3) 本大会におけるアシスタントレフリー・サブコントローラー（選手入替・交代管理者）は、大会本部で配置する。
- (4) 競技中及びその前後に使用するユニフォーム類の胸には、必ず所属する都道府県名を明示すること。

11 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025 年 9 月 7 日（日） 午後 1 時
場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号
TEL 03-3401-3321 FAX 03-3401-6610

(2) 代表者会議

(成年男子)

日 時 2025 年 10 月 5 日 (日) 午後 4 時
場 所 滋賀県希望が丘文化公園 スポーツ会館
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜 9 7 8
TEL 077-588-3251 FAX 077-588-3252

(女 子)

日 時 2025 年 10 月 3 日 (金) 午後 4 時
場 所 滋賀県希望が丘文化公園 スポーツ会館
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜 9 7 8
TEL 077-588-3251 FAX 077-588-3252

(少年男子)

日 時 2025 年 10 月 2 日 (木) 午後 4 時
場 所 滋賀県希望が丘文化公園 スポーツ会館
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜 9 7 8
TEL 077-588-3251 FAX 077-588-3252

(3) 表彰式

(成年男子・総合)

日 時 2025 年 10 月 7 日 (火) 競技終了後
場 所 滋賀県希望が丘文化公園 陸上競技場
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜 9 7 8
TEL 077-588-3251 FAX 077-588-3252

(女 子)

日 時 2025 年 10 月 5 日 (日) 競技終了後
場 所 滋賀県希望が丘文化公園 陸上競技場
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜 9 7 8
TEL 077-588-3251 FAX 077-588-3252

(少年男子)

日 時 2025 年 10 月 7 日 (火) 競技終了後
場 所 滋賀県希望が丘文化公園 球技場
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜 9 7 8
TEL 077-588-3251 FAX 077-588-3252

式典次第

女子 表彰式次第

- (1) 日 時 令和7年10月5日(日) 競技終了後
 (2) 会 場 滋賀県希望が丘文化公園 陸上競技場
 (3) 式次第

順 序	次 第
1	開式通告
2	成績発表
3	賞状・副賞授与
4	競技会会長挨拶
5	歓送のことば
6	競技会終了宣言
7	閉式通告
8	選手団退場

少年男子 表彰式次第

- (1) 日 時 令和7年10月7日(火) 競技終了後
 (2) 会 場 滋賀県希望が丘文化公園 球技場
 (3) 式次第

順 序	次 第
1	開式通告
2	成績発表
3	賞状・副賞授与
4	競技会会長挨拶
5	歓送のことば
6	競技会終了宣言
7	閉式通告
8	選手団退場

成年男子・総合成績 表彰式次第

- (1) 日 時 令和7年10月7日(火) 競技終了後
 (2) 会 場 滋賀県希望が丘文化公園 陸上競技場
 (3) 式次第

順 序	次 第
1	開式通告
2	成績発表
3	賞状・副賞授与
4	総合成績発表
5	表彰状・大会会長トロフィー授与
6	競技会会長挨拶
7	歓送のことば
8	国旗・大会旗・諸旗降納
9	競技会終了宣言
10	閉式通告
11	選手団退場



〔28〕 ラグビーフットボール競技

野 洲 市

競 技 日 程

代 表 者 会 議	【成年男子】	10月5日（日）	16：00～	スポーツ会館・多目的室
	【女子】	10月3日（金）	16：00～	スポーツ会館・多目的室
	【少年男子】	10月2日（木）	16：00～	スポーツ会館・多目的室

会場	種目	種別	10月3日（金）	10月4日（土）	10月5日（日）	10月6日（月）	10月7日（火）
滋賀県希望が丘文化公園	陸上競技場（天然芝）	7人制	成年男子			予選プール （12試合） 第1試合 10:00～ 最終試合 14:00～ 決勝トーナメント （4試合） 第1試合 15:00～ 最終試合 16:00～	決勝トーナメント （7試合） 第1試合 10:00～ 最終試合 13:00～ 表彰式（競技終了後） 成年男子・総合
		7人制	女子	予選プール （12試合） 第1試合 10:00～ 最終試合 14:00～ 決勝トーナメント （4試合） 第1試合 15:00～ 最終試合 16:00～	決勝トーナメント （7試合） 第1試合 10:00～ 最終試合 13:00～ 表彰式（競技終了後） 女 子		
	球技場（人工芝）	15人制	少年男子	1回戦 第1試合 11:50～ 第2試合 13:10～	2回戦 第1試合 10:30～ 第2試合 11:50～ 第3試合 13:10～ 第4試合 14:30～	5・7位決定戦 第1試合 10:30～ 第2試合 11:50～ 準決勝戦 第1試合 13:10～ 第2試合 14:30～	決勝戦 11:20～ 表彰式（競技終了後） 少年男子
			少年男子	1回戦 第1試合 11:50～ 第2試合 13:10～			
	陸上競技場（天然芝）	15人制	少年男子				
			少年男子				

表 彰 式	【成年男子・総合】	10月7日（火）	競技終了後	滋賀県希望が丘文化公園陸上競技場
	【女子】	10月5日（日）	競技終了後	滋賀県希望が丘文化公園陸上競技場
	【少年男子】	10月7日（火）	競技終了後	滋賀県希望が丘文化公園球技場

ラグビーフットボール競技 組合せ表

【 成 年 男 子 】

<予選プール> 10月6日(月)

会 場 滋賀県希望が丘文化公園陸上競技場(天然芝)

試 合 時 間 : 7分ハーフ

※ 試合間隔は4分

ハーフタイム : 2分以内

※ 予選プールの④試合後と⑧試合後に10分間のインターバルを設ける

※ 予選プールと決勝トーナメント1回戦の間に40分間のインターバルを設ける

I プール

都道府県名	a	b	c	勝敗	勝ち点	順位
a 北海道		①	⑤			
b 東京			⑨			
c 佐賀						

II プール

都道府県名	a	b	c	勝敗	勝ち点	順位
a 青森		②	⑥			
b 滋賀			⑩			
c 愛知						

III プール

都道府県名	a	b	c	勝敗	勝ち点	順位
a 新潟		③	⑦			
b 愛媛			⑪			
c 大阪						

IV プール

都道府県名	a	b	c	勝敗	勝ち点	順位
a 広島		④	⑧			
b 秋田			⑫			
c 長崎						

<予選プール>

(a-b)

I ①	10:00~	I a - I b
II ②	10:20~	II a - II b
III ③	10:40~	III a - III b
IV ④	11:00~	IV a - IV b

(a-c)

I ⑤	11:30~	I a - I c
II ⑥	11:50~	II a - II c
III ⑦	12:10~	III a - III c
IV ⑧	12:30~	IV a - IV c

(b-c)

I ⑨	13:00~	I b - I c
II ⑩	13:20~	II b - II c
III ⑪	13:40~	III b - III c
IV ⑫	14:00~	IV b - IV c

<決勝トーナメント 1回戦>

⑬	15:00~
⑭	15:20~
⑮	15:40~
⑯	16:00~

(16:16 終了)

<決勝トーナメント> 10月6日(月)・7日(火)

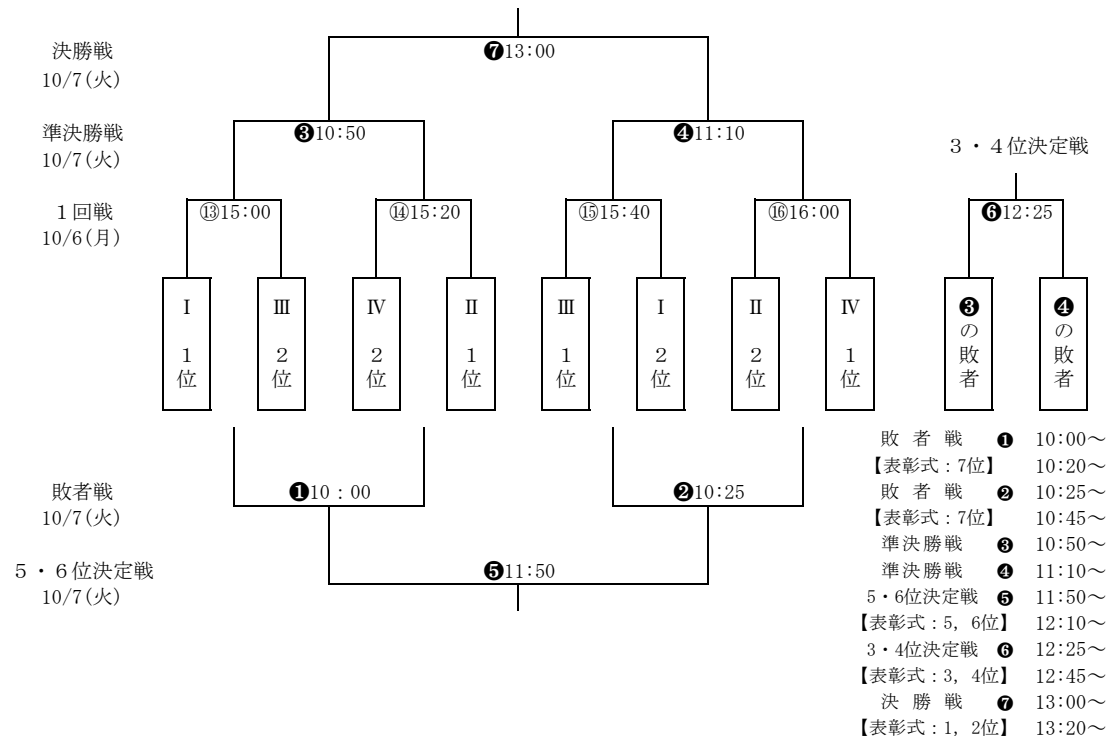
会 場 滋賀県希望が丘文化公園陸上競技場(天然芝)

試 合 時 間 : 7分ハーフ

※ 決勝トーナメント④⑤試合の間に20分間のインターバルを設ける

ハーフタイム : 2分以内

※ ⑤⑥試合の間に10分間、⑥⑦試合の間に5分間のインターバルを設ける



【女子】

ラグビーフットボール競技 組合せ表

【 少 年 男 子 】

試 合 時 間 : 30分ハーフ

ハーフタイム : 5分以内

会 場 A : 滋賀県希望が丘文化公園球技場 (人工芝)

B : 滋賀県希望が丘文化公園陸上競技場 (天然芝)

10月 6 日 (月)	出場チーム 都道府県名	10月 3 日 (金)	10月 4 日 (土)	10月 6 日 (月)	10月 7 日 (火)
5・7 位決定 (各 2 チーム)		1 回戦	2 回戦	準決勝戦 3位決定(2チーム)	決勝戦 1・2 位決定
<div><div>A-7 10:30</div><div>A-8 11:50</div></div>	東京	1	<div><div>A-3 10:30</div><div>A-4 11:50</div><div>A-9 13:10</div></div>		
	石川	2			
	滋賀	3			
	福岡	4			
	北海道	5			
	宮城	6			
	愛知	7	<div><div>A-5 13:10</div><div>A-6 14:30</div><div>A-10 14:30</div></div>		
	広島	8			
	大阪	9			
	愛媛	10			
	秋田	11			
	大分	12			

参加監督・選手一覧表【成年男子】

北海道					
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先
監督	君 嶋 祐 太			1988/01/20	(株)パルテクノ
1	神 山 達 哉	170	74	2000/02/17	JA北海道厚生連旭川厚生病院
2	七 戸 勇 気	171	76	1991/03/08	(株)メディカルシステムネットワーク
③	相 澤 賢 志 郎	172	75	1998/11/29	(株)メディカルシステムネットワーク
4	阿 部 涼 太	170	71	2001/05/29	(株)メディカルシステムネットワーク
5	稲 葉 逸 生	180	83	2005/08/13	旭川医科大学
6	佐々木 浩 祐	175	85	2001/04/24	丸美運輸(株)
7	中 条 拓 夢	189	90	2002/05/26	(株)メディカルシステムネットワーク
8	平 野 雄 紀	169	76	2002/11/24	(株)メディカルシステムネットワーク
9	櫻 場 弥	170	88	1991/07/07	(株)メディカルシステムネットワーク
10	鈴 木 大 之	174	77	2000/03/31	(株)大林組

青森県					
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先
監督	山 下 祐 史			1984/09/15	八戸学院大学(職)
1	鶴 谷 知 憲	185	95	1990/10/18	LEAD PRIVATE GYM
2	三 上 匠	192	103	1990/05/15	三上工務店
3	小 笠 原 駿	173	77	1990/07/07	株式会社青南商事
4	佐々木 剛	180	101	1997/04/17	東芝ブレイブルーパス東京
5	宝 田 神 響	183	97	2002/09/06	八戸学院大学
6	吹 越 大 清	180	92	1998/02/17	青森県ラグビーフットボール協会
7	杉 山 葉	173	85	2003/08/08	八戸学院大学
8	千 葉 健	171	82	2002/08/30	日本製鉄株式会社北日本製鉄所
9	今 大 輝	181	82	2001/08/17	産業振興株式会社
10	中 村 良 真	172	80	1994/11/27	青森県競技力向上対策本部
⑪	山 下 祐 史	175	80	1984/09/15	八戸学院大学(職)

秋田県					
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先
監督	橋 本 憲			1997/01/31	ハシケンラグビー教室
1	橋 本 憲	175	84	1997/01/31	ハシケンラグビー教室
2	渡 邊 将 太 朗	182	89	1996/05/03	秋田県立栗田支援学校(教)
3	梶 原 大 河	177	80	2001/09/03	秋田県立秋田きらり支援学校(教)
4	大 塚 隆 史	180	85	1996/08/09	エイデイケイ富士システム株式会社
5	佐 藤 亮 吾	180	88	2002/01/23	株式会社清水組
⑥	丸 尾 崇 真	185	93	1999/01/08	東成瀬テックソリューションズ株式会社
7	ソキヴェタ モ セ セ	191	114	1997/02/06	公益財団法人秋田県スポーツ協会
8	小 林 唯 人	174	93	1995/03/26	秋田県中小企業団体中央会
9	老 田 龍 平	180	89	1999/07/05	丸井産業株式会社秋田営業所
10	安藤 翼	173	89	2003/03/19	株式会社秋田ケーブルテレビ
11	佐藤 顕亮	164	78	1992/09/03	株式会社フジタ

参加監督・選手一覧表【成年男子】

東京都						
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先	
監督	加 藤 尋 久			1967/06/16	トレーニングサロンエウレカ	
1	高 井 優 志	175	81	2001/03/26	清水建設江東ブルーシャークス	
2	池 澤 佑 尽	179	82	2001/10/11	クリタウォーターガッシュ昭島	
③	奥 谷 友 規	166	70	1998/01/09	サムライセブン	
4	小 澤 翔	175	84	2000/01/16	サムライセブン	
5	矢 澤 野 峰	181	90	2002/03/14	東京ガス	
6	横 山 伊 織	176	90	2002/05/18	クリタウォーターガッシュ昭島	
7	山 脇 一 真	170	70	2002/01/31	明治安田ホーリーズ	
8	中 島 卓	170	75	1997/06/23	サムライセブン	
9	大 崎 哲 仁	178	93	2003/01/08	東京ガス	
10	栗 原 優	177	83	1998/06/27	サムライセブン	

新潟県						
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先	
監督	齋 藤 敏			1980/05/18	県立新潟工業高等学校(教)	
①	小 林 大 也	170	83	1998/08/17	燕市役所	
2	榎 本 幹 也	170	75	2002/10/09	(株)ペイカレント	
3	大 久 保 征	165	70	2002/09/06	エレマテック(株)	
4	小 日 向 杏 介	168	70	1997/01/02	(株)第四北越銀行	
5	加 納 貴 文	173	78	1999/02/21	柏崎市立第三中学校(教)	
6	佐 藤 航 大	175	80	2003/01/16	古川マグネットワイヤ(株)	
7	武 田 凱	175	78	2002/04/29	三菱製鋼(株)	
8	細 川 大 斗	182	92	2001/12/06	味の素(株)	
9	本 多 光	173	78	1995/09/02	県立新発田高等学校(教)	
10	山 崎 成 太	175	85	2000/09/15	大和ハウス工業(株)	
11	齋 藤 敏	180	95	1980/05/18	県立新潟工業高等学校(教)	

愛知県						
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先	
監督	山 下 昂			1989/11/22	愛知県立瀬戸西高等学校(教)	
1	山 下 昂	172	83	1989/11/22	愛知県立瀬戸西高等学校(教)	
2	本 多 覚 士	172	81	2000/08/15	(株)豊通テック	
③	梶 原 悠 汰	168	81	2001/11/29	豊田ケミカルエンジニアリング(株)	
4	高 木 陵 太 郎	180	81	2000/05/23	豊通物流(株)	
5	野々山 紘 旨	170	88	1999/03/19	CCNet(株)	
6	笠 原 浩 史	173	85	2001/02/12	中部電力ミライズ(株)	
7	奥 平 龍 ノ 介	176	82	1998/04/06	(株)ワンキャリア	
8	亀 沖 泰 輝	180	90	1999/12/30	(株)学情	
9	塚 本 健	176	76	1993/08/27	栄徳高等学校(職)	
10	奥 平 都 太 郎	178	90	2002/04/30	中部電力パワーグリッド(株)	
11	川 上 遼 太	186	83	1999/10/06	伊勢湾海運(株)	

参加監督・選手一覧表【成年男子】

滋賀県					
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先
監督	内 藤 伸 哉			1996/01/25	滋賀県立玉川高等学校(教)
①	内 藤 伸 哉	182	89	1996/01/25	滋賀県立玉川高等学校(教)
2	盛 田 気	180	85	1995/10/05	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
3	林 大 成	176	82	1992/06/27	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
4	薬 師 寺 晃	175	80	1998/11/16	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
5	鳥 居 嵩 司	178	78	2001/01/31	共栄工業株式会社 京都工場
6	前 川 成 哉	169	71	1998/07/31	株式会社Canup
7	粕 淵 爽 介	170	72	2003/05/15	陽風水工房
8	狭 川 剛	172	70	2000/03/21	共栄工業株式会社 京都工場
9	岡 本 流 星	177	92	2001/02/16	大阪府警察
10	池 尾 拓 也	177	74	2006/05/01	三菱自動車工業株式会社京都製作所
11	藏 内 祐 賀	171	85	2002/11/22	滋賀県ラグビーフットボール協会

大阪府					
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先
監督	野 口 大 輔			1993/08/08	東大阪市立日新高等学校(教)
①	野 口 大 輔	175	80	1993/08/08	東大阪市立日新高等学校(教)
2	島 直 良	180	80	1989/07/29	近鉄不動産株式会社
3	土 屋 鷹 一 郎	187	95	1989/12/04	株式会社NTTドコモ
4	宮 里 尚 樹	170	73	1980/06/22	株式会社ドコモビジネスソリューション
5	津 留 修 平	172	78	1989/11/03	株式会社NTTドコモ
6	秋 山 治 生	172	78	1999/06/29	東大阪市立日新高等学校(教)
7	韋 宏 彰	177	92	1992/02/15	野田阪神歯科クリニック
8	笠 木 大	181	75	1987/09/19	NTTコミュニケーションズ株式会社
9	中 島 仙 太 郎	172	83	2004/04/20	同志社大学
10	松 岡 佑 樹	171	73	2001/07/07	稲畑産業株式会社
11	吉 田 健 作	171	80	2002/03/02	同志社香里高等学校(教)

広島県					
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先
監督	三 好 啓 太			1984/10/15	マツダ株式会社
1	亀 井 康 平	176	79	1997/06/27	マツダ株式会社
2	中 村 悠 人	178	85	1998/03/02	マツダ株式会社
3	松 澤 駿 平	178	88	2002/09/25	マツダ株式会社
4	グアイニ 優 人	177	96	2002/09/12	マツダ株式会社
5	山 口 莉 輝	180	106	1999/02/14	中国電力株式会社
6	河 嶋 凜 太 郎	160	65	1993/10/28	中国電力株式会社
7	松 岡 祐 斗	183	92	1998/02/22	中国電力株式会社
8	久 保 太 陽	183	105	2002/11/05	中国電力株式会社
⑨	結 城 光	182	87	2003/03/14	広島大学
10	田 丸 翔 太	176	85	2001/05/19	県立広島大学
11	三 好 啓 太	174	78	1984/10/15	マツダ株式会社

参加監督・選手一覧表【成年男子】

愛媛県					
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先
監督	渡 辺 悠 太			1988/04/21	松山聖陵高等学校(教)
①	城 戸 啓 太	168	78	1994/12/08	(株)リクルート
2	前 田 清 治	175	85	1998/01/23	TEAM EHIME
3	山 崎 勇 希	180	76	1998/03/13	(株)三浦マニファクチャリング
4	渡 部 勝 登	185	85	1998/03/08	スイムアンドデイ
5	永 井 響	181	91	1999/05/21	松山聖陵高等学校(職)
6	谷 脇 秀 志	175	85	1999/10/08	三甲(株)
7	久 藤 涼 太	174	72	2001/07/28	(株)愛媛銀行
8	川 端 咲 寿	162	65	2002/04/05	(株)愛媛銀行
9	大 澤 成 貴	169	65	1998/04/03	(株)フカガワ
10	渡 部 雄 大	170	90	2002/09/04	マツダ(株)

佐賀県					
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先
監督	中 園 真 司			1986/01/11	日野自動車
1	光 吉 謙 太 郎	178	78	1996/04/25	横河武蔵野アトラスターズ
2	中 園 真 司	171	75	1986/01/11	日野自動車
3	矢 次 竜 介	173	80	2001/10/24	安川電機
4	福 士 萌 起	184	98	1999/03/11	日野レッドドルフィンズ
5	川 越 大 地	171	78	2003/05/22	日本体育大学
6	森 山 翔 斗	170	72	2002/11/14	鹿児島銀行
7	服 部 莞 太	170	71	2002/09/04	日野レッドドルフィンズ
8	勝 目 龍 馬	165	71	2002/04/07	横河武蔵野アトラスターズ
9	山 口 健 太 郎	181	80	2004/12/05	福岡工業大学
10	岩 田 大 司	175	80	2006/09/04	明治大学
⑪	宮 上 廉	178	90	1997/05/15	横河武蔵野アトラスターズ

長崎県					
位置	氏 名	身長	体重	生年月日	勤 務 先
監督	向 井 友 教			1985/10/20	三菱重工業(株)
1	大 道 勇 喜	176	84	1994/07/30	(株)豊田自動織機
2	朝 長 駿	181	94	1997/02/14	日野自動車(株)
③	二 宮 流 生	176	84	1995/08/19	(株)フジタ
4	石 田 圭 祐	175	82	1996/08/14	(株)豊田自動織機
5	太 田 景 親	177	80	1999/12/25	東京ヤクルト販売(株)
6	高 比 良 隼 輝	175	80	2000/03/17	中部電力ミライズ(株)
7	有 川 航 汰	163	60	2000/04/21	(株)富士商会
8	田 中 怜	173	73	2000/12/09	横河ソリューションサービス(株)
9	川 久 保 彪 我	166	75	2001/11/02	(株)NHC
10	山 田 駿 也	172	80	2002/06/29	(株)JALグランドサービス

参加監督・選手一覧表【女子】

北海道					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先
監督	平 野 智 彦			1972/07/05	(株)メディカルシステムネットワーク
1	佐 藤 優	160	60	1996/12/07	(株)メディカルシステムネットワーク
2	吉 田 鳳 子	162	66	1999/04/07	(株)メディカルシステムネットワーク
3	吉 井 愛 華	161	61	2002/02/14	(株)パルテクノ
④	米 村 妃 菜	161	51	2003/01/19	(株)メディカルシステムネットワーク
5	佐 野 茜 音	154	59	2001/03/24	陸上自衛隊
6	鈴 木 雅 乃	154	50	2007/08/29	札幌山の手高等学校
7	石 岡 和 乃 羽	158	57	2008/09/12	北海道札幌厚別高等学校
8	植 村 花 蓮	161	55	2007/10/16	北海道札幌厚別高等学校
9	松 下 優 花	157	61	2007/05/07	札幌山の手高等学校
10	野 村 咲 月	163	66	2004/12/28	北海道教育大学

青森県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先
監督	幅 野 真 子			1999/03/25	青森県立十和田工業高等学校(教)
1	戸 賀 澤 亜 実	163	73	1994/10/11	八戸学院光星高等学校
②	片 岡 瑞 帆	159	68	2005/06/14	株式会社青南商事
3	山 形 詩 織	163	87	1998/08/27	株式会社青南商事
4	藤 森 晶	165	65	1999/03/25	青森県ラグビーフットボール協会
5	石 井 心 悠	160	60	2001/02/10	札幌大学
6	新 居 里 江 子	160	60	2004/10/04	株式会社青南商事
7	尾 形 こ こ	158	52	2001/02/08	八戸学院大学
8	古 関 未 来	162	52	2007/07/23	八戸学院大学
9	佐々木 璃 音	159	55	1993/09/08	八戸学院光星高等学校
10	國 分 琳 子	160	55	2006/11/15	青森県立三本木農業恵拓高等学校
11	幅 野 真 子	150	52	1999/03/25	青森県立十和田工業高等学校(教)

宮城県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先
監督	柴 田 尚 都			1965/06/25	仙台高等専門学校名取キャンパス(教)
①	佐 藤 舞 那	158	63	1995/07/06	仙台赤門短期大学
2	伊 藤 睦	162	65	1997/08/24	陸上自衛隊朝霞駐屯地自衛隊体育学校
3	大 久 保 芽 衣	176	61	2004/04/19	立正大学
4	只 野 華 梨	160	51	2006/05/26	日本経済大学
5	早 坂 美 伶	155	50	2006/07/19	仙台高等専門学校名取キャンパス
6	柴 田 礼 雪	159	58	2007/03/25	宮城大学
7	阿 部 心 春	156	49	2007/04/11	仙台育英学園高等学校
8	和 泉 ひ な た	164	86	2008/01/06	仙台育英学園高等学校
9	伊 藤 千 尋	153	55	2007/07/12	岩ヶ崎高等学校
10	木 川 宙	158	56	2009/12/08	佐沼高等学校

参加監督・選手一覧表【女子】

栃木県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先
監督	小 西 想 羅			2000/02/21	ながとブルーエンジェルス
①	内 海 春 菜 子	161	60	2000/03/16	YOKOHAMA TKM
2	田 中 笑 伊	168	66	1999/10/19	ながとブルーエンジェルス
3	梅 津 悠 月	157	59	2002/09/09	横河武蔵野アルテミスターズ
4	佐々木 理 子	158	58	2002/05/12	YOKOHAMA TKM
5	寺 内 音 和	158	56	2006/02/19	湘南ベルマーレBell7
6	萩 原 光 莉	160	58	2006/08/18	Brave Louve
7	新 井 琴 羽	160	58	2006/10/15	Brave Louve
8	森 田 日 和 子	153	50	2007/04/14	栃木県立佐野高等学校
9	横 田 陽 子	160	58	2008/01/16	國學院大學栃木高等学校
10	山 口 佳 織	155	65	2008/01/19	國學院大學栃木高等学校
11	小 西 想 羅	167	78	2000/02/21	ながとブルーエンジェルス

新潟県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先
監督	佐 野 英 朗			1974/06/09	新潟食料農業大学(職)
①	星 野 光 咲	160	59	2001/02/05	(株)新潟クボタ
2	天 谷 友 紀	167	67	1993/08/17	(株)新潟日報社
3	塚 原 彩 月	160	58	2005/05/06	四国大学
4	山 田 望 結	158	51	2006/10/31	帝京大学
5	大 竹 未 久	150	54	2007/10/17	北越高等学校
6	小 熊 望	155	50	2007/05/03	新潟市立万代高等学校
7	佐 野 陽 和	158	68	2007/11/14	新潟市立高志中等教育学校
8	高 橋 一 歩 希	160	65	2007/07/11	開志国際高等学校
9	細 川 優 那	165	55	2007/09/22	北越高等学校
10	本 間 比 奈	156	51	2007/07/27	開志国際高等学校

三重県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先
監督	斎 藤 久			1966/09/21	一般社団法人PEARLS
1	三 輪 里 佳	160	63	2000/03/24	九鬼産業株式会社
②	古 屋 み ず 希	167	64	1999/09/07	住友電装株式会社
3	渡 邊 希 海	155	58	1999/05/07	すずらん診療所
4	庵 奥 里 愛	160	60	1996/10/02	住友電装株式会社
5	木 下 そ よ 香	160	63	2000/05/18	住友電装株式会社
6	勝 島 朱 夏 里	154	54	2005/08/16	住友電装株式会社
7	大 内 田 夏 月	164	60	2002/07/15	住友理工株式会社
8	須 田 倫 代	157	60	2003/02/25	住友電装株式会社
9	末 結 希	162	62	1993/11/03	住友電装株式会社
10	三 谷 咲 月	160	58	2000/05/09	明星大学

参加監督・選手一覧表【女子】

滋賀県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先
監督	小 堀 文 雄			1984/04/10	大津市立瀬田小学校(教)
1	中 野 衣 都	162	54	2007/05/02	京都成章高等学校
2	坂 口 菜々美	152	54	2002/07/26	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
3	宮 村 彩 加	166	65	2004/03/08	追手門学院大学
4	木 村 蒼 芽	159	54	2009/01/21	滋賀県立膳所高等学校
5	小 妻 由 芽	160	54	2006/03/30	追手門学院大学
⑥	杉 江 芽 衣 奈	170	62	2002/04/28	株式会社滋賀銀行
7	長 手 美 波	163	63	2001/10/19	草津市立老上小学校(教)
8	西 濱 明 里	160	53	2008/10/13	追手門学院高等学校
9	竹 内 佳 歩	164	59	2006/06/28	滋賀県ラグビーフットボール協会
10	細 野 柚	157	63	2004/12/07	京セラ株式会社

京都府					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先
監督	橋 本 照 和			1963/01/10	一般社団法人京都府ラグビーフットボール協会
①	長 瀬 拓 美	153	58	2002/06/03	YOKOHAMA TKM
2	小 池 玉 紗	152	52	2002/07/26	神戸ファストジャイロ
3	麻 田 瑞 月	160	66	2002/10/20	京都JOINUS
4	安 井 ノ エ ル	154	64	2002/08/08	京都JOINUS
5	向 井 楓 葉	153	53	2003/10/09	ARUKAS QUEEN KUMAGAYA
6	村 田 美 咲	153	61	2005/01/10	ARUKAS QUEEN KUMAGAYA
7	尾 久 土 栞	168	62	2006/09/08	早稲田大学
8	亀 山 日 和	161	60	2006/06/01	SCIXラグビークラブ
9	長 谷 部 尋 奈	155	52	2008/03/06	京都成章高等学校
10	谷 口 楓	157	58	2009/09/23	京都成章高等学校

山口県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先
監督	中 村 龍 夫			1953/01/05	山口県ラグビーフットボール協会
1	藤 崎 春 菜	163	65	1997/03/31	ヤマネ鉄工建設株式会社
2	パティヴァカロロ アテザ優海	164	65	2000/01/01	ヤマネ鉄工建設株式会社
3	パティヴァカロロ ライチェル海遥	162	65	1997/09/18	セコム株式会社
4	室 越 香 南	158	58	2000/08/03	ヤマネ鉄工建設株式会社
5	平 野 優 芽	160	60	2000/03/15	ヤマネ鉄工建設株式会社
6	大 谷 芽 生	158	58	2000/05/28	ヤマネ鉄工建設株式会社
7	辰 己 裕 有 希	159	60	1999/10/04	ヤマネ鉄工建設株式会社
8	東 あ か り	163	63	2001/07/19	ヤマネ鉄工建設株式会社
9	井 上 藍	160	61	1999/05/10	ヤマネ鉄工建設株式会社
⑩	坪 井 美 月	156	60	1999/06/30	ヤマネ鉄工建設株式会社

参加監督・選手一覧表【女子】

徳島県						
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先	
監督	天 羽 誠 二			1998/04/02	鳴門渦潮高校(教)	
1	吉 岡 美 音	158	54	1998/04/02	四国大学	
②	日 下 寧 々	155	50	1991/11/21	神戸ファストジャイロ	
3	扇 愛 心	160	55	1995/12/16	四国大学	
4	折 目 真 咲	161	55	1999/09/20	四国大学	
5	佐 藤 晃 羽	163	63	2000/05/19	追手門学院大学	
6	元 木 奈 緒	156	50	2001/06/23	阿波クラブ	
7	小 西 志 功	163	52	2002/06/05	鳴門渦潮高校	
8	大 口 華 歩	159	68	2003/02/07	鳴門渦潮高校	
9	尾 崎 楓 音	153	52	2003/11/24	鳴門渦潮高校	
10	大 川 紗 優 生	153	54	2003/08/01	鳴門渦潮高校	

福岡県						
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先	
監督	高 崎 真 那			1998/04/02	横河武蔵野アルテミスターズ	
①	高 崎 真 那	163	62	1998/04/02	横河武蔵野アルテミスターズ	
2	小 笹 知 美	172	68	1991/11/21	ナナイロプリズム福岡	
3	草 野 可 凜	156	61	1995/12/16	ナナイロプリズム福岡/増田石油株式会社	
4	梶 木 真 凜	163	65	1999/09/20	自衛隊体育学校	
5	永 田 花 菜	169	58	2000/05/19	ナナイロプリズム福岡	
6	吉 野 舞 祐	159	56	2001/06/23	ナナイロプリズム福岡	
7	山 本 彩 花	153	53	2002/06/05	横河武蔵野アルテミスターズ	
8	安 永 佳 奈	166	65	2003/02/07	横河武蔵野アルテミスターズ	
9	星 野 瑠 奈	158	55	2003/11/24	九州産業大学	
10	中 山 花 の ん	160	61	2003/08/01	久留米大学女子ラグビー部	
11	田 中 芽 衣	162	59	2006/04/28	横河武蔵野アルテミスターズ	

佐賀県						
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	勤 務 先	
監督	堤 ほ の 花			1997/06/19	ディックソリューションエンジニアリング	
①	近 藤 き ら ら	161	58	2001/10/10	自衛隊体育学校	
2	岡 本 奈 那	158	60	2005/04/20	東京農業大学	
3	谷 山 雅	165	67	2007/12/28	佐賀県立佐賀工業高等学校	
4	船 川 陽 菜	158	55	2007/10/22	佐賀県立佐賀工業高等学校	
5	中 野 栞 捺	158	55	2007/09/30	佐賀県立佐賀工業高等学校	
6	片 岡 詩	165	63	2004/04/23	ディックソリューションエンジニアリング	
7	伊 礼 門 千 珠	152	60	2007/02/18	久留米大学	
8	福 田 こ は る	159	60	2008/01/06	佐賀県立佐賀工業高等学校	
9	田 川 結 月	160	58	2009/01/06	佐賀県立佐賀工業高等学校	
10	古 川 奏	153	56	2008/10/31	佐賀県立佐賀工業高等学校	
11	堤 ほ の 花	153	56	1997/06/19	ディックソリューションエンジニアリング	

参加監督・選手一覧表【少年男子】

北海道					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	岸 本 泰 輔			1976/12/26	北海道大麻高等学校(教)
1	西 村 鉄 掌	175	104	2007/11/19	札幌山の手高等学校
2	中 村 駿	174	98	2007/09/25	札幌山の手高等学校
3	鎌 田 宋 汰	191	113	2008/01/06	札幌山の手高等学校
4	中 村 宏 太 郎	178	90	2007/09/21	立命館慶祥高等学校
5	笠 間 歩	177	91	2007/12/09	立命館慶祥高等学校
6	丸 山 隼 汰	171	84	2007/05/22	札幌山の手高等学校
7	大 川 武 琉	179	97	2007/11/22	札幌山の手高等学校
8	岡 真 羽 呂	166	83	2008/02/19	札幌山の手高等学校
9	浅 田 柊	168	75	2007/12/18	札幌山の手高等学校
10	田 尾 公 謙	174	82	2008/01/16	立命館慶祥高等学校
11	浅 野 大 樹	180	89	2007/07/24	立命館慶祥高等学校
⑫	小 野 寛 太	174	78	2007/05/22	札幌山の手高等学校
13	渡 邊 悠 生	184	84	2007/05/03	立命館慶祥高等学校
14	松 橋 佑 朔	165	71	2008/03/16	立命館慶祥高等学校
15	赤 木 大 誠	172	70	2008/08/07	札幌山の手高等学校
16	原 田 蓮	160	87	2007/08/20	札幌山の手高等学校
17	中 山 誠 斗	174	113	2008/08/02	札幌山の手高等学校
18	上 村 寛 大	168	92	2007/08/21	北海道遠軽高等学校
19	宮 本 太 進	170	81	2007/07/21	立命館慶祥高等学校
20	吉 田 琉 希 也	178	90	2007/10/07	遠軽高等学校
21	井 坂 空 音	168	73	2008/02/15	札幌山の手高等学校
22	米 岡 應 倫	170	78	2008/02/05	札幌山の手高等学校
23	芳 野 鉄 平	169	76	2008/06/04	立命館慶祥高等学校

宮城県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	長 尾 豊			1972/08/23	利府高等学校(教)
1	中 島 颯 太	181	102	2008/03/23	仙台育英学園高等学校
2	小 坂 雄 真	171	95	2007/11/04	仙台育英学園高等学校
3	佐々木 開 地	176	98	2007/07/15	佐沼高等学校
4	本 橋 由 晟	181	81	2008/01/25	仙台育英学園高等学校
5	木 村 叶 夢	178	92	2007/10/16	仙台育英学園高等学校
6	木 下 尊 斗	166	76	2008/05/18	仙台育英学園高等学校
7	千 葉 獅 琉	174	80	2007/08/06	佐沼高等学校
8	飯 島 慎 太 郎	181	98	2008/01/06	仙台育英学園高等学校
9	長 谷 川 颯	166	66	2008/03/02	仙台育英学園高等学校
⑩	和 田 晴 澄	172	76	2007/06/28	仙台育英学園高等学校
11	小 池 桜 賀	176	65	2009/01/05	仙台育英学園高等学校
12	二 上 伊 織	170	86	2008/01/23	仙台育英学園高等学校
13	片 岡 大 生 輝	174	72	2007/10/29	仙台育英学園高等学校
14	佐 藤 海 風	176	61	2009/01/06	仙台育英学園高等学校
15	吉 田 真 啓	175	75	2007/09/27	佐沼高等学校
16	佐々木 永 詩	173	98	2008/03/13	仙台第三高等学校
17	佐 藤 智 暉	180	97	2008/05/24	仙台育英学園高等学校
18	志 賀 健 造	183	103	2007/07/27	仙台育英学園高等学校
19	浮 津 脩 平	181	90	2007/12/19	仙台高等専門学校名取キャンパス
20	布 施 穂 高	172	78	2007/08/15	佐沼高等学校
21	岩 田 拓	168	60	2007/10/27	仙台育英学園高等学校
22	山 本 晴 日	174	78	2009/03/14	仙台育英学園高等学校
23	小 原 啓 太 郎	173	73	2008/01/15	仙台第三高等学校

参加監督・選手一覧表【少年男子】

秋田県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	佐 藤 栄 幸			1981/02/06	秋田県立秋田中央高等学校(教)
1	近 藤 龍 之 介	170	80	2007/10/15	秋田県立秋田工業高等学校
②	川 瀬 雄 介	172	64	2008/02/08	秋田県立秋田工業高等学校
3	江 畑 暁 登	175	81	2007/06/04	秋田県立秋田工業高等学校
4	館 岡 悠 希	181	93	2007/12/21	秋田県立秋田中央高等学校
5	渡 邊 慶 史	163	71	2007/10/18	秋田県立秋田中央高等学校
6	柿 崎 広 太 朗	180	76	2007/08/16	秋田県立秋田中央高等学校
7	伊 藤 慶 尊	173	76	2007/08/21	秋田県立秋田中央高等学校
8	菅 原 巧 帆	173	80	2007/09/16	秋田県立秋田工業高等学校
9	伊 藤 拓 海	177	87	2007/08/16	秋田県立秋田中央高等学校
10	沖 田 透 真	170	97	2008/02/25	秋田県立男鹿工業高等学校
11	佐 藤 良 祐	172	87	2007/09/10	秋田県立秋田工業高等学校
12	草 皆 帆 稀	175	87	2007/11/12	秋田県立秋田中央高等学校
13	佐々木 大 地	180	105	2009/01/30	秋田県立秋田工業高等学校
14	桜 庭 蓮 温	177	84	2007/06/28	秋田県立秋田工業高等学校
15	齋 藤 絢 士	181	96	2007/12/31	秋田県立秋田高等学校
16	富 樫 龍 陽	180	80	2008/01/10	秋田県立金足農業高等学校
17	畠 山 舶 耀	178	71	2008/11/12	秋田県立秋田中央高等学校
18	伽 羅 谷 昇 吾	174	76	2008/01/04	秋田県立秋田工業高等学校
19	笹 渕 暖 人	173	80	2008/01/16	秋田県立男鹿工業高等学校
20	夏 井 蓮	165	66	2007/12/30	秋田県立秋田工業高等学校
21	桜 庭 大 樹	168	67	2007/12/11	秋田県立金足農業高等学校
22	三 浦 大 輝	172	67	2008/09/12	秋田県立秋田工業高等学校
23	大 高 琥 珀	178	105	2007/04/07	秋田県立男鹿工業高等学校

東京都					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	野 口 友 輔			1972/02/09	東京都立府中西高等学校(教)
1	水 田 謙 壮	181	106	2008/12/29	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部
2	今 村 太 一	175	98	2008/01/23	東京高等学校
3	岩 崎 壮 志	178	110	2007/08/16	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部
4	吉 澤 輝	183	111	2007/06/08	國學院大學久我山高等学校
5	山 田 志 道	181	85	2007/07/03	目黒学院高等学校
6	阿 部 史 門	174	88	2008/01/01	目黒学院高等学校
7	宮 本 大 地	174	89	2007/09/19	國學院大學久我山高等学校
8	富 田 和 斗	181	95	2007/12/21	明治大学附属中野中学・高等学校
9	渡 邊 幹 太	166	69	2007/05/17	目黒学院高等学校
10	中 山 大 翔	174	84	2008/06/16	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部
11	中 村 理 応	181	84	2007/12/18	目黒学院高等学校
12	村 上 冬 二	174	81	2007/12/18	成城学園高等学校
13	新 井 大 智	178	99	2007/07/29	國學院大學久我山高等学校
⑭	宮 下 隼	171	72	2007/08/23	國學院大學久我山高等学校
15	竹 本 悟 士	172	72	2008/03/23	目黒学院高等学校
16	吉 田 龍 平	172	103	2007/07/28	國學院大學久我山高等学校
17	村 田 葵	159	92	2008/08/10	目黒学院高等学校
18	阪 井 麟 太 郎	181	110	2007/05/30	目黒学院高等学校
19	本 圖 大 将	162	70	2008/04/25	國學院大學久我山高等学校
20	久 間 恒 太	187	93	2007/05/16	國學院大學久我山高等学校
21	太 田 瑛 貴	161	64	2007/05/15	國學院大學久我山高等学校
22	及 川 拓 巳	176	85	2007/10/25	目黒学院高等学校
23	飯 泉 敢 太	174	75	2008/06/09	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部

参加監督・選手一覧表【少年男子】

石川県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	紙 谷 直 樹			1967/07/18	日本航空高等学校石川(教)
①	尾 芝 樹 心	174	105	2008/03/30	日本航空高等学校石川
2	馬 医 和 輝	175	95	2007/07/09	日本航空高等学校石川
3	竹 村 人 生	176	105	2007/04/27	日本航空高等学校石川
4	ラ ン ギ エドウィン	191	118	2007/09/18	日本航空高等学校石川
5	坂 口 善 哉	188	96	2007/11/06	日本航空高等学校石川
6	袋 井 俊 逢	183	78	2008/11/06	日本航空高等学校石川
7	江 口 凜 太 郎	183	94	2008/07/21	日本航空高等学校石川
8	竹 田 充 希	180	105	2007/08/19	石川県立鶴来高等学校
9	三 井 奏 汰	168	55	2008/10/17	日本航空高等学校石川
10	中 村 晃 太	175	89	2008/09/07	日本航空高等学校石川
11	大 土 井 慧 賀	168	71	2008/01/07	日本航空高等学校石川
12	薄 雲 拓 未	170	77	2007/08/25	日本航空高等学校石川
13	マプァエ ウィリアム	180	93	2008/08/21	日本航空高等学校石川
14	仲 村 渠 伶 音	183	77	2008/05/28	日本航空高等学校石川
15	田 島 翔 大	175	75	2007/04/26	石川県立鶴来高等学校
16	原 田 天	166	99	2008/09/01	日本航空高等学校石川
17	高 橋 莉 汰	168	93	2008/10/16	日本航空高等学校石川
18	伊 藤 亮 介	175	102	2008/11/21	日本航空高等学校石川
19	富 田 昂 邦	170	81	2009/03/26	日本航空高等学校石川
20	木 村 溪 吾	170	73	2008/09/23	日本航空高等学校石川
21	小 林 静 太 郎	169	77	2008/01/11	日本航空高等学校石川
22	石 崎 遥 夢	171	80	2007/05/10	日本航空高等学校石川
23	村 山 咲 大 朗	170	67	2010/01/29	日本航空高等学校石川

愛知県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	小 川 智			1978/04/07	愛知県立旭丘高等学校(教)
1	芦 高 弘 晟	170	75	2007/08/05	中部大学春日丘高等学校
②	荒 木 奨 陽	169	70	2007/06/02	中部大学春日丘高等学校
3	池 山 拓 磨	173	76	2008/02/11	中部大学春日丘高等学校
4	伊 藤 尚	167	94	2007/06/18	中部大学春日丘高等学校
5	加 藤 秀 悟	171	77	2007/11/09	中部大学春日丘高等学校
6	久 米 希 心	173	102	2007/06/28	中部大学春日丘高等学校
7	坂 口 湊 眞	171	90	2007/04/12	中部大学春日丘高等学校
8	津 久 茂 弦 己	172	101	2007/12/29	中部大学春日丘高等学校
9	坪 ルーター海飛	185	98	2007/07/04	中部大学春日丘高等学校
10	福 井 勇 河	171	88	2007/05/01	中部大学春日丘高等学校
11	古 田 樹 愛	168	83	2007/05/24	中部大学春日丘高等学校
12	古 屋 元 誠	169	89	2007/11/22	中部大学春日丘高等学校
13	松 井 玖 磨	167	74	2008/01/06	中部大学春日丘高等学校
14	加 茂 野 魁	174	77	2008/02/08	名古屋高等学校
15	杉 方 敢	173	69	2007/06/15	名古屋高等学校
16	中 島 裕 次 郎	176	86	2007/06/06	名古屋高等学校
17	丹 羽 倖 己	171	90	2007/05/08	名古屋高等学校
18	福 永 煌	174	84	2007/11/14	名古屋高等学校
19	山 本 航 大	189	93	2007/06/18	名古屋高等学校
20	近 藤 貴 心	168	71	2007/08/14	栄徳高等学校
21	佐 野 淳 一	174	100	2007/10/25	栄徳高等学校
22	浅 妻 安 利	182	123	2008/03/22	愛知県立三好高等学校
23	宇 都 野 右 真	188	103	2007/12/29	栄徳高等学校

参加監督・選手一覧表【少年男子】

滋賀県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	薬 師 寺 利 弥			1974/11/20	光泉カトリック高等学校
1	中 島 真 海 偉	171	99	2007/06/14	光泉カトリック高等学校
2	漆 崎 輝	175	68	2007/11/24	滋賀県立八幡工業高等学校
3	山 下 理 人	182	115	2008/01/16	光泉カトリック高等学校
4	中 野 博 心	175	93	2008/03/05	滋賀県立八幡工業高等学校
5	梅 田 大 虎	176	95	2008/09/03	光泉カトリック高等学校
6	浅 井 公 紀	176	97	2007/08/14	光泉カトリック高等学校
7	山 本 龍 成	158	73	2008/08/08	光泉カトリック高等学校
8	松 岡 清 志 郎	175	80	2007/08/08	光泉カトリック高等学校
9	網 島 健 太	174	79	2008/12/28	光泉カトリック高等学校
10	上 田 葦 恭	171	77	2007/08/08	光泉カトリック高等学校
11	西 啓 惺	162	69	2007/11/01	光泉カトリック高等学校
12	片 倉 康 介	180	92	2008/12/26	光泉カトリック高等学校
13	山 口 晃 平	170	70	2009/02/17	光泉カトリック高等学校
14	山 鹿 烈	172	84	2007/12/21	光泉カトリック高等学校
15	古 川 颯	168	63	2008/03/10	光泉カトリック高等学校
16	松 本 真 ノ 輔	169	54	2008/03/10	光泉カトリック高等学校
17	藤 原 優	173	59	2008/10/29	光泉カトリック高等学校
18	鹿 島 慧 悟	178	76	2007/12/12	光泉カトリック高等学校
①⑨	古 川 茜 之 輔	173	77	2007/05/23	光泉カトリック高等学校
20	畑 歩 汰	172	64	2008/07/24	光泉カトリック高等学校
21	今 野 瑛 介	170	67	2009/01/05	光泉カトリック高等学校
22	八 田 晃 佑	175	60	2009/01/23	光泉カトリック高等学校
23	河 合 隆 眞	178	75	2008/05/17	光泉カトリック高等学校

大阪府					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	梶 村 真 也			1981/05/16	関西大学北陽高等学校(教)
1	谷 爲 慶	174	98	2007/04/07	大阪桐蔭高等学校
2	角 方 温 太	178	107	2007/05/25	東海大学付属大阪仰星高等学校
3	古 澤 晴 也	176	110	2008/03/25	常翔学園高等学校
4	泊 晴 理	192	108	2007/11/07	大阪桐蔭高等学校
5	大 宮 悠 山	183	105	2008/02/14	関西大学北陽高等学校
6	崔 皇 鳳	177	95	2008/01/22	大阪朝鮮中高級学校
7	塩 谷 優 太	178	97	2007/10/10	東海大学付属大阪仰星高等学校
8	田 中 蓮 聖	173	88	2007/09/23	常翔学園高等学校
9	元 橋 直 海	178	78	2008/02/12	常翔学園高等学校
10	矢 守 勇 生	178	83	2008/01/23	大阪桐蔭高等学校
11	来 田 実 礼	159	78	2007/04/04	東海大学付属大阪仰星高等学校
12	山 崎 瑛 太	174	85	2008/02/28	東海大学付属大阪仰星高等学校
⑬	東 佑 太	173	85	2008/01/19	東海大学付属大阪仰星高等学校
14	モ レ ノ 経 廉 ザンダー	182	85	2008/01/29	大阪桐蔭高等学校
15	須 田 琥 珀	172	78	2007/12/14	大阪桐蔭高等学校
16	朝 倉 久 喜	179	103	2007/06/04	東海大学付属大阪仰星高等学校
17	岡 本 慶 次	174	100	2007/06/16	常翔学園高等学校
18	佐 口 広 樹	179	110	2007/07/18	東海大学付属大阪仰星高等学校
19	鈴 木 風 馬	182	102	2007/10/17	常翔学園高等学校
20	西 絃 太	175	88	2007/06/29	東海大学付属大阪仰星高等学校
21	福 島 悠 右	170	75	2007/09/25	大阪桐蔭高等学校
22	菊 池 敬 太	172	82	2007/04/23	東海大学付属大阪仰星高等学校
23	南 悠 介	171	76	2007/10/10	常翔学園高等学校

参加監督・選手一覧表【少年男子】

広島県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	清 原 謙 次			1970/09/16	中国電力株式会社
1	和 田 颯 紀	177	96	2007/06/08	尾道高等学校
2	西 尾 彰 倫	169	99	2008/01/22	尾道高等学校
3	西 川 大 裕	177	99	2007/07/10	尾道高等学校
4	長 島 永 遠	181	80	2007/09/03	尾道高等学校
5	東 本 祥 吾	177	92	2007/06/08	尾道高等学校
6	妹 塚 柊 太	172	85	2008/02/08	尾道高等学校
7	西 尾 勇 人	180	87	2008/02/02	尾道高等学校
8	沖 建 至 郎	169	76	2007/04/16	尾道高等学校
9	赤 迫 周 琉	163	64	2008/03/25	尾道高等学校
10	石 川 友 琉	171	71	2007/07/11	尾道高等学校
11	山 内 直	164	72	2007/07/31	尾道高等学校
12	高 山 鉄 心	168	77	2007/07/02	尾道高等学校
⑬	佐 藤 麗 斗	178	75	2007/09/18	尾道高等学校
14	香 井 由 崇	175	74	2007/10/22	尾道高等学校
15	篠 原 仁 哉	178	74	2007/06/11	尾道高等学校
16	中 世 良 星 弥	166	97	2007/12/29	広島県立広島工業高等学校
17	永 木 應 介	170	94	2008/02/18	尾道高等学校
18	池 口 颯 斗	172	96	2007/06/19	広島県立広島工業高等学校
19	濱 田 遥 仁	178	96	2007/06/24	尾道高等学校
20	沖 田 亘	167	90	2009/03/03	崇徳高等学校
21	吉 川 周 汰	165	70	2007/11/14	尾道高等学校
22	大 本 航 平	168	72	2008/10/24	尾道高等学校
23	児 玉 源 太 郎	175	80	2007/11/05	崇徳高等学校

愛媛県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	坂 東 大 輔			1985/03/06	愛媛県立三島高等学校(教)
1	濱 田 翔 大	174	115	2007/12/26	松山聖陵高等学校
2	栗 栖 稜 世	173	92	2008/09/04	松山聖陵高等学校
3	牧 隼	181	115	2007/06/05	松山聖陵高等学校
④	原 田 樹	180	90	2007/08/22	松山聖陵高等学校
5	森 田 聖 斗	177	93	2008/01/17	松山聖陵高等学校
6	村 木 元 亮	168	82	2008/02/02	松山聖陵高等学校
7	石 川 楓 真	166	83	2007/09/18	松山聖陵高等学校
8	宮 本 空	180	90	2007/05/15	松山聖陵高等学校
9	東 堂 大 雅	162	60	2007/06/13	松山聖陵高等学校
10	藤 本 泰 志	175	67	2009/07/31	松山聖陵高等学校
11	稲 田 蓮	174	73	2008/07/04	松山聖陵高等学校
12	中 上 幹 大	170	72	2007/04/11	松山聖陵高等学校
13	阿 塚 心	182	96	2007/04/18	松山聖陵高等学校
14	長 谷 川 光 春	161	65	2007/05/30	松山聖陵高等学校
15	田 畑 匠 道	172	80	2007/09/05	松山聖陵高等学校
16	矢 出 真 士	176	90	2007/08/11	松山聖陵高等学校
17	門 田 龍 海	177	98	2008/08/03	松山聖陵高等学校
18	南 陽 世	173	95	2008/02/21	松山聖陵高等学校
19	松 本 潤 之 介	185	85	2007/12/17	松山聖陵高等学校
20	甲 斐 八 希	166	80	2007/06/11	松山聖陵高等学校
21	山 本 琉 稀 弥	165	65	2008/06/27	松山聖陵高等学校
22	柴 田 和 輝	165	76	2009/01/14	松山聖陵高等学校
23	大 場 胡 太 朗	171	77	2007/05/12	松山聖陵高等学校

参加監督・選手一覧表【少年男子】

福岡県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	長 木 裕			1984/04/21	福岡県立筑紫高等学校(教)
1	勝 又 篤	172	95	2007/06/06	東福岡高等学校
2	大 石 琢 登	173	103	2007/12/19	福岡県立筑紫高等学校
3	武 田 粹 幸	175	117	2007/08/10	東福岡高等学校
4	稗 田 正 楽	179	86	2008/03/31	東福岡高等学校
5	ラ ト ャ サ ミ ウ エ ラ	188	103	2007/11/19	東海大学付属福岡高等学校
6	内 田 瑛 佑	165	80	2007/12/15	東福岡高等学校
7	古 澤 将 太	179	97	2007/05/24	東福岡高等学校
⑧	須 藤 蔭 一	176	104	2007/08/08	東福岡高等学校
9	黒 木 真 洸	170	68	2007/08/10	東福岡高等学校
10	川 添 丈	167	76	2008/05/24	東福岡高等学校
11	磯 部 聖 輝	169	75	2007/12/06	東福岡高等学校
12	草 場 壮 史	184	83	2007/04/14	福岡県立筑紫高等学校
13	半 田 悦 翔	175	89	2008/01/21	東福岡高等学校
14	平 尾 龍 太	169	74	2007/10/27	東福岡高等学校
15	高 野 恵 次 郎	181	85	2007/09/02	福岡県立小倉高等学校
16	溝 邊 亨 仁	171	97	2008/03/06	福岡県立福岡工業高等学校
17	セ ホ ビ ス ト 一 勇 貴	175	96	2007/11/10	東福岡高等学校
18	武 田 琢 磨	172	98	2008/04/07	東福岡高等学校
19	中 遼 太 郎	184	91	2007/08/05	福岡県立修猷館高等学校
20	中 務 創 太	173	95	2009/02/27	東福岡高等学校
21	橋 場 璃 音	164	65	2008/05/31	東福岡高等学校
22	八 尋 奏	172	75	2008/05/22	東福岡高等学校
23	早 坂 俊 吾	173	73	2007/08/26	東福岡高等学校

大分県					
位置	氏 名	身長	体重	生 年 月 日	学校名
監督	白 田 誠 明			1976/04/09	大分東明高等学校(教)
①	鶴 田 英 士	165	95	2007/05/22	大分東明高等学校
2	武 田 悠 雅	170	85	2007/09/28	大分東明高等学校
3	磯 崎 昇 太 郎	185	120	2007/11/28	大分県立大分舞鶴高等学校
4	小 野 永 翔	180	86	2007/12/08	大分東明高等学校
5	竹 尾 悠	178	100	2007/09/19	大分県立大分舞鶴高等学校
6	濱 田 琉 斗	171	90	2007/09/15	大分東明高等学校
7	ナ ク ル イ ラ ン キ サ ケ ナ サ	188	100	2007/05/24	大分東明高等学校
8	石 井 颯 太	186	102	2008/08/03	大分東明高等学校
9	黒 岩 稜	169	65	2007/11/16	大分東明高等学校
10	吉 田 夏 樹	174	74	2008/08/19	大分東明高等学校
11	上 野 大 惺	176	78	2007/04/04	大分東明高等学校
12	河 野 拓 真	176	88	2007/09/14	大分東明高等学校
13	田 中 勝 斗	174	83	2007/08/17	大分東明高等学校
14	ロ コ ト ウ イ フ ナ サ ナ イ ラ	180	90	2008/01/30	大分県立大分舞鶴高等学校
15	安 藤 佑 真	170	73	2007/07/28	大分東明高等学校
16	勝 俣 肇	173	90	2008/10/18	大分東明高等学校
17	小 笠 颯 大	169	96	2007/04/27	大分県立玖珠美山高等学校
18	神 崎 喜 裕	180	104	2008/08/22	大分東明高等学校
19	中 村 春 太 朗	178	84	2007/08/07	大分東明高等学校
20	ホ ラ リ ン カ タ ホ ア レ バ ー ニ ワ ガ ン タ オ	186	105	2008/04/05	大分県立大分舞鶴高等学校
21	所 琉 斗	158	67	2008/02/26	大分東明高等学校
22	山 本 愛 翔	172	67	2008/07/29	大分東明高等学校
23	ナ ヒ ニ ャ ー タ ラ ト ウ ア ハ ク キ	188	90	2007/07/15	大分東明高等学校

ブロック大会成績表【成年男子】

東北ブロック

グループ	青森県	宮城県	山形県	福島県	岩手県	秋田県	順位
青森県	—	○40-28	○28-17	○36-0	○26-17	●0-21	2
宮城県	●28-40	—	○28-26	○50-5	●5-22	●5-26	4
山形県	●17-28	●26-28	—	○20-0	●12-19	●0-26	5
福島県	●0-36	●5-50	●0-20	—	●19-26	●0-33	6
岩手県	●17-26	○22-5	○19-12	○26-19	—	●5-42	3
秋田県	○21-0	○26-5	○26-0	○33-0	○42-5	—	1

リーグ戦1位：秋田県、2位：青森県の2チームが本国スポ出場

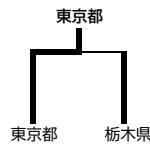
北海道（北海道ブロック）および
滋賀県（開催地）が本国スポ出場

関東ブロック

Aグループ	千葉県	東京都	山梨県	埼玉県	順位
千葉県	—	●0-33	●12-24	●24-40	4
東京都	○33-0	—	○38-10	○28-12	1
山梨県	○24-12	●10-38	—	●19-40	3
埼玉県	○40-24	●12-28	○40-19	—	2

東京都が本国スポ出場

Bグループ	茨城県	群馬県	栃木県	神奈川県	順位
茨城県	—	○36-21	●21-28	○35-12	2
群馬県	●21-36	—	●21-33	○43-0	3
栃木県	○28-21	○33-21	—	●12-19	1
神奈川県	●0-43	●0-43	○19-12	—	4



北信越ブロック

	福井県	石川県	新潟県	長野県	富山県	順位
福井県	—	○22-14	●0-15	○29-7	○22-17	2
石川県	●14-22	—	●19-22	○26-19	○31-14	3
新潟県	○15-0	○22-19	—	○33-5	○41-0	1
長野県	●7-29	●19-26	●5-33	—	○24-7	4
富山県	●17-22	●14-31	●0-41	●7-24	—	5

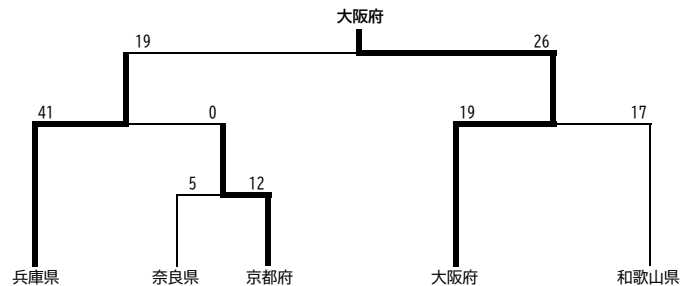
リーグ戦1位：新潟県が本国スポ出場

東海ブロック

	岐阜県	三重県	愛知県	静岡県	順位
岐阜県	—	●7-36	●0-50	○34-12	3
三重県	○36-7	—	●12-35	○21-7	2
愛知県	○50-0	○35-12	—	○59-0	1
静岡県	●12-34	●7-21	●0-59	—	4

リーグ戦1位：愛知県が本国スポ出場

近畿ブロック

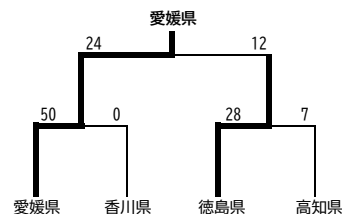


中国ブロック

	島根県	岡山県	山口県	鳥取県	広島県	順位
島根県	—	●0-64	●0-64	●5-33	●0-45	5
岡山県	○64-0	—	●5-24	○36-5	●5-29	3
山口県	○52-0	○24-5	—	○45-5	●7-34	2
鳥取県	○33-5	●5-36	●5-45	—	●0-45	4
広島県	○64-0	○29-5	○34-7	○45-0	—	1

リーグ戦1位：広島県が本国スポ出場

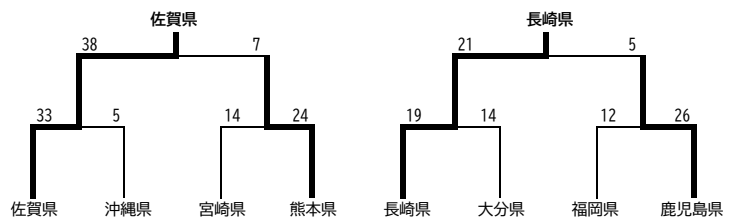
四国ブロック



九州ブロック

Aグループ	長崎県	福岡県	宮崎県	佐賀県	順位
長崎県	—	○47-5	○33-7	—	2
福岡県	●5-47	—	●0-42	—	4
宮崎県	●7-33	—	—	●5-47	3
佐賀県	—	○42-0	○47-5	—	1

Bグループ	沖縄県	大分県	熊本県	鹿児島県	順位
沖縄県	—	●12-26	●12-26	—	4
大分県	○26-12	—	●12-42	—	3
熊本県	○26-12	—	—	●5-26	2
鹿児島県	—	○42-12	○26-5	—	1



上記の他に、北海道（北海道ブロック）、滋賀県（開催地）が本国スポ出場

ブロック大会成績表【女子】

東北ブロック

	青森県	秋田県	岩手県	宮城県	福島県	順位
青森県		〇46-0	〇36-0	〇33-15	〇29-7	1
秋田県	●0-46		●0-42	●0-64	●0-34	5
岩手県	●0-36	〇42-0		●5-27	〇14-5	3
宮城県	●15-33	〇64-0	〇27-5		〇21-12	2
福島県	●7-29	〇34-0	●5-14	●12-21		4

リーグ戦1位：青森県、2位：宮城県が本国スポへ出場

北海道（北海道ブロック）および

滋賀県（開催地）が本国スポ出場

関東ブロック

グループ	茨城県	埼玉県	群馬県	栃木県	順位
茨城県		●7-33	○22-5	○31-0	2
埼玉県	○33-7		○19-14	●0-22	3
群馬県	●5-22	●14-19		●0-45	4
栃木県	●0-31	○22-0	○45-0		1

グループ	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	順位
千葉県		○21-14	●0-12	○58-0	2
東京都	●14-21		●12-36	○50-0	3
神奈川県	○12-0	○36-12		○46-0	1
山梨県	●0-58	●0-50	●0-46		4

北信越ブロック

	新潟県	石川県	長野県	福井県	富山県	順位
新潟県		○21-17	○46-0	○52-0	○56-0	1
石川県	●17-21		○52-0	○50-5	○56-5	2
長野県	●0-46	●0-52		○26-14	○38-12	3
福井県	●0-52	●5-50	●14-26		○36-17	4
富山県	●0-56	●5-56	●12-38	●17-36		5

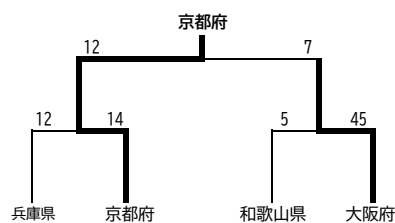
リーグ戦1位：新潟県が本国スポ出場

東海ブロック

	三重県	岐阜県	愛知県	静岡県	順位
三重県		○45 - 0	○42 - 0	○31 - 12	1
岐阜県	●0 - 45		●10 - 24	●0 - 33	4
愛知県	●0 - 42	○24 - 10		○14 - 17	3
静岡県	●12 - 31	○33 - 0	○17 - 14		2

リーグ戦 1位：三重県が本国スポ出場

近畿ブロック

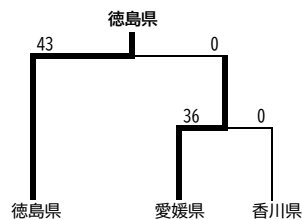


中国ブロック

	広島県	山口県	島根県	岡山県	鳥取県	順位
広島県		●0-62	●0-45	●5-29	●36-0	4
山口県	●62-0		●34-0	●43-0	●66-0	1
島根県	●45-0	●0-34		●69-0	●71-0	2
岡山県	●29-5	●0-43	●0-69		●27-7	3
鳥取県	●0-36	●0-66	●0-71	●7-27		5

リーグ戦1位：山口県が本国スポ出場

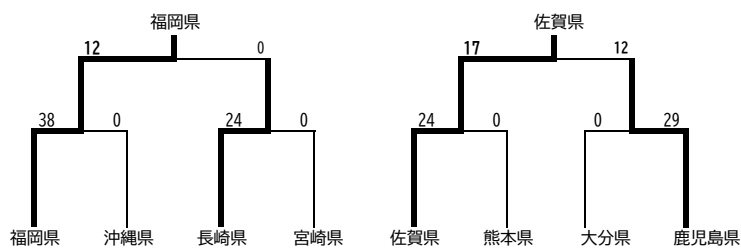
四国ブロック



九州ブロック

Aプール	福岡県	長崎県	大分県	佐賀県	順位
福岡県		○19-12	○60-0	—	1
長崎県	●12-19		—	△0-0	3
大分県	●0-60	—		●0-26	4
佐賀県	—	△0-0	○26-0		2

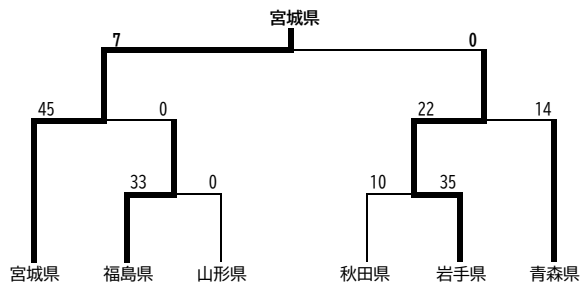
Bプール	沖縄県	鹿児島県	宮崎県	熊本県	順位
沖縄県		●0-45	●0-59	—	1
鹿児島県	○45-0		—	○49-5	3
宮崎県	○59-0	—		○21-14	2
熊本県	—	●5-49	●14-21		4



上記の他に、北海道（北海道ブロック）、滋賀県（開催地）が本国スポ出場

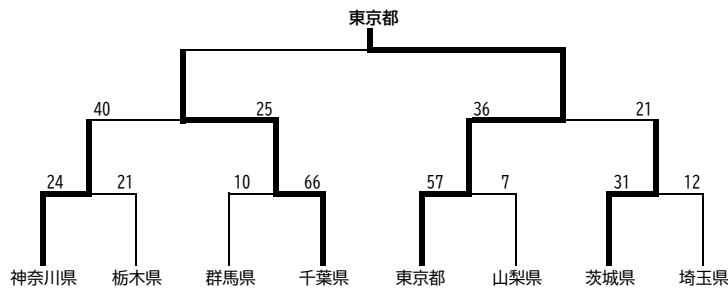
ブロック大会成績表【少年男子】

東北ブロック

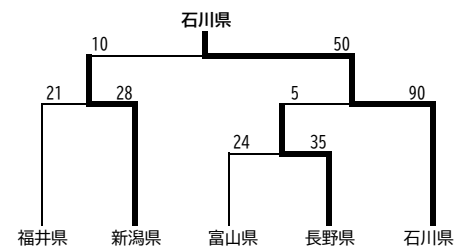


北海道（北海道ブロック）および
滋賀県（開催地）が本国スポ出場

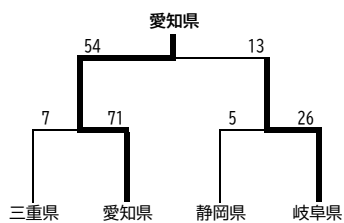
関東ブロック



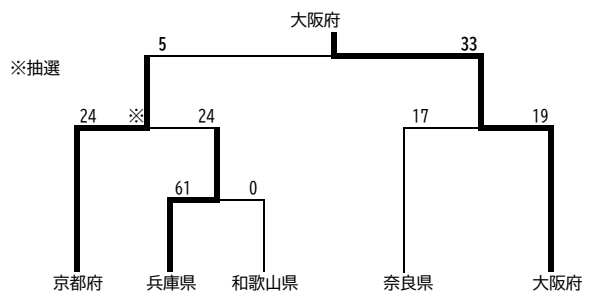
北信越ブロック



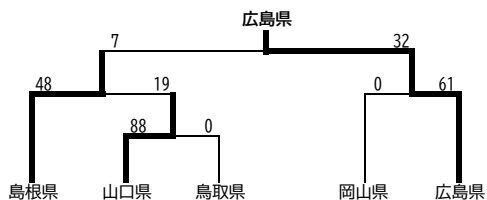
東海ブロック



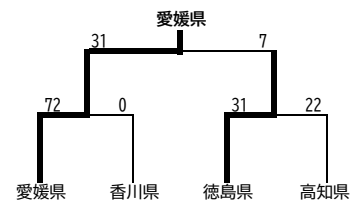
近畿ブロック



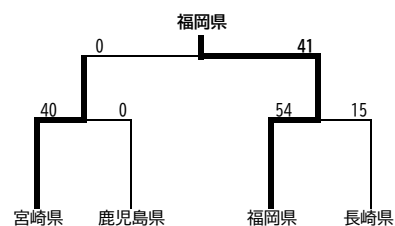
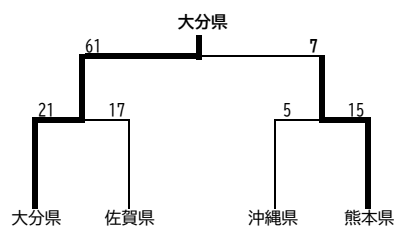
中国ブロック



四国ブロック



九州ブロック



上記の他に、北海道（北海道ブロック）、滋賀県（開催地）が本国スポ出場

都道府県別（種別）参加申込人数一覧表

		成年男子	女子	少年男子	合計	備考
1	北海道	11	11	24	46	
2	青森県	11	11		22	
3	岩手県					
4	宮城県		11	24	35	
5	秋田県	11		24	35	
6	山形県					
7	福島県					
8	茨城県					
9	栃木県		11		11	
10	群馬県					
11	埼玉県					
12	千葉県					
13	東京都	11		24	35	
14	神奈川県					
15	山梨県					
16	新潟県	11	11		22	
17	長野県					
18	富山県					
19	石川県			24	24	
20	福井県					
21	静岡県					
22	愛知県	11		24	35	
23	三重県		11		11	
24	岐阜県					
25	滋賀県	11	11	24	46	
26	京都府		11		11	
27	大阪府	11		24	35	
28	兵庫県					
29	奈良県					
30	和歌山県					
31	鳥取県					
32	島根県					
33	岡山県					
34	広島県	11		24	35	
35	山口県		11		11	
36	香川県					
37	徳島県		11		11	
38	愛媛県	11		24	35	
39	高知県					
40	福岡県		11	24	35	
41	佐賀県	11	11		22	
42	長崎県	11			11	
43	熊本県					
44	大分県			24	24	
45	宮崎県					
46	鹿児島県					
47	沖縄県					
計		132	132	288	552	

年次別成績一覧表

回数	開催県名	実業団	中学校		高専	Op
1 2	京都 石川	西(門司鉄道局) 九州(門司鉄道局) 東北(新鉄土崎工機部)	西(神戸二中) 東北(函館市立中)		西(立命館専門)	関東
回数	開催県名	一般	高校		教員	壮年
3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32	福岡 東京 愛知 広島 宮城・山形・福島 香川・高知・ 徳島・愛媛 北海道 神奈川 兵庫 静岡 富山 東京 熊本 秋田 岡山 山口 新潟 岐阜 大分 埼玉 福井 長崎 岩手 和歌山 鹿児島 千葉 茨城 三重 佐賀 青森	福岡県(全福岡) 東京都(全東京) 福岡県(全福岡) 東京都(全東京) 福岡県(全福岡) 福岡県(全福岡) 福岡県(全福岡) 福岡県(全福岡) 福岡県(全福岡) A熊本県(熊本工) C東京都(保善高) A神奈川県(慶応高) A熊本県(熊本工) A秋田県(秋田工) A秋田県(秋田工) A秋田県(秋田工) A秋田県(秋田工) A東京都(保善高) A東京都(保善高) A秋田県(秋田工) A秋田県(秋田工) A岩手県(盛岡工) A東京都(保善高) A東京都(保善高) A奈良県(天理高) A秋田県(秋田工) A秋田県(秋田工) A秋田県(秋田高) A秋田県(秋田高) A福岡県(全福岡) A岩手県(全岩手) A京都府(花園高) A東京都(全東京) A東京都(全東京) A岩手県(全岩手) 岩手県(新日本製鉄)	秋田県(秋田工) 福岡県(修徳館高) 秋田県(秋田工) 秋田県(秋田工) 福岡県(福岡高) A熊本県(熊本工) B宮城県(石巻高) D群馬県(高崎高)・北海道(北海高) B秋田県(秋田工) B群馬県(高崎高) B東京都(保善高) B東京都(城北高) B東京都(保善高) B大阪府(興国商高) B秋田県(秋田工) B東京都(保善高) B奈良県(天理高) B神奈川県(慶応高) B神奈川県(慶応高) B秋田県(秋田工) B秋田県(秋田市立高) B大分県(全大分) B東京都(目黒高) B長崎県(諫早農)・新潟県(新潟工) B岩手県(全岩手) B岩手県(全岩手) B東京都(目黒高) B大分県(大分舞鶴)・広島県(広島工) B秋田県(秋田工) B岩手県(全岩手) B大阪府(大工大高) B京都府(全京都)		東京都(東京教員クラブ) 大阪府(大阪教員クラブ) 愛知県(愛知教員クラブ) 大阪府(大阪教員クラブ) 大阪府(大阪教員クラブ) 大分県(大分教員クラブ) 岐阜県(岐阜教員クラブ) 岐阜県(岐阜教員クラブ) 岐阜県(岐阜教員クラブ) 岐阜県(岐阜教員クラブ) 鹿児島県(鹿児島教員クラブ) 千葉県(千葉教員クラブ) 茨城県(茨城教員クラブ) 三重県(三重教員クラブ) 和歌山県(和歌山教員クラブ) 大阪府(大阪教員クラブ)	大阪府 (全大阪)
回数	開催県名	成年	少年			
33 34 35 36 37 38 39 40 41 42	長野 宮崎 栃木 滋賀 島根 群馬 奈良 鳥取 山梨 沖縄	群馬県(東京三洋電機) 岩手県(新日本製鉄) 群馬県(東京三洋電機) 群馬県(東京三洋電機) 岩手県(新日本製鉄) 東京都(東芝府中) 福岡県(全福岡) 愛知県(トヨタ自動車) 東京都(東芝府中) 山口県(日新製鋼)	A岩手県(全岩手) A秋田県(全秋田) A東京都(全東京) B宮崎県(全宮崎) 京都府(全京都)・大阪府(全大阪) 大阪府(全大阪) 東京都(全東京) 大阪府(全大阪) 奈良県(全奈良) 埼玉県(全埼玉) 山梨県(全山梨) 京都府(全京都)			
回数	開催県名	成年男子1部	成年男子2部		少年	
43 44 45 46 47 48 49	京都 北海道 福岡 石川 山形 香川・徳島 愛知	群馬県(全群馬) 山口県(日新製鋼) 福岡県(全福岡)・群馬県(三洋電機) 愛知県(トヨタ自動車) 愛知県(トヨタ自動車) 愛知県(トヨタ自動車) 兵庫県(ワールド)	京都府(全京都) 京都府(全京都) 福岡県(全福岡) 京都府(全京都) 秋田県(全秋田) 徳島県(全徳島) 愛知県(全愛知)		大阪府(全大阪) 京都府(全京都) 大阪府(全大阪) 大阪府(全大阪) 大阪府(全大阪) 島根県(全島根) 東京都(全東京)	
回数	開催県名	成年男子	少年男子	女子		
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 特別 78	福島 広島 大阪 神奈川 熊本 富山 宮城 高知 静岡 埼玉 岡山 兵庫 秋田 大分 新潟 千葉 山口 岐阜 東京 長崎 和歌山 岩手 愛媛 福井 茨城 鹿児島 三重 栃木 特別 鹿児島 佐賀	大阪府(全大阪) 愛知県(全愛知) 愛知県(全愛知) 千葉県(全千葉) 群馬県(群馬県代表) 群馬県(全群馬) 愛知県(全愛知) 埼玉県(セコム) 静岡県(ヤマハ発動機) 埼玉県(セコム) 三重県(本田技研工業) 兵庫県(全兵庫) 秋田県(全秋田) 三重県(全三重) 新潟県(全新潟) 三重県(本田技研工業) 愛知県(全愛知) 三重県(全三重) 東京都(全東京) 佐賀県(全佐賀) 愛知県(全愛知) 愛媛県(TEAM 愛媛) 東京都(全東京) 福井県 三重県 (中止) (中止) 三重県 三重県 三重県 佐賀県	長崎県(全長崎) 福岡県(全福岡) 大阪府(全大阪) 大阪府(全大阪) 大阪府(全大阪) 長崎県(全長崎) 大阪府 佐賀県 埼玉県 埼玉県 大阪府 神奈川県 福岡県 福岡県 福岡県 福岡県 大阪府 東京都 大阪府 大阪府 奈良県 大阪府 奈良県 福岡県 (中止) (中止) (中止) 福岡県 福岡県 奈良県	埼玉県 福岡県 大阪府 茨城県 (中止) (中止) 三重県 埼玉県 福岡県		

セブンスの見どころ（成年男子・女子7人制）

セブンスとは？

7人対7人で行うラグビーフットボールのことをセブンス（Sevens）という。15人制の試合と同じグラウンドサイズで、基本的に同じ競技規則によって行われる。2016年夏季のリオ五輪にて開催され、日本代表が大活躍した。

試合時間は15人制に比べて短く、7分ハーフで行われることが多い。

ポジションはフォワード(FW)3名とバックス(BK)4名で形成される。フォワードはプロップ(PR)が2名、フッカー(HO)が1名、バックスはスクラムハーフ(SH)1名、スタンドオフ(SO)1名、スリークォーターバック(TB)が2名で構成されるポジションニングが主流となっている。

セブンスの見どころ

広いフィールドを少ない人数でカバーするため、選手1人1人の走力、ハンドリングスキルが高くなければならない。15人制では一回プレーすると次の動きをするまでに時間の余裕があるが、7人制はパスしたらすぐにサポートするなど動き続けなければならない。15人制の激しい肉弾戦とは一線を画し、エキサイティングで流れるようなスピード感のあるプレーが見どころである。

セブンスの発祥

セブンス発祥の地メルローズは、エディンバラからはおよそ50キロ南東に位置するスコットランドの南部の、人口が2000人に満たない小さな町である。周辺はスコティッシュ・ボーダーズと呼ばれるイングランドとの国境の北側の地域で、付近に点在する小村それぞれに強豪クラブが肩を並べる有名なラグビー熱狂地帯である。ラグビーの1チームの人数が20人から15人に減らされた1877年に、セブンスの誕生の舞台となるメルローズRFCが誕生した。6年後の1883年、財政難のクラブを救うために、メルローズの町の肉屋の店員ネッド・ヘイグは、近在のチームを集めて日暮れまでの半日の間に大会を開こうと考え、そのために1チームの人数を7人に減らして得点の機会を増やすことや、ゲーム時間を1試合15分に短縮するを思いついた。

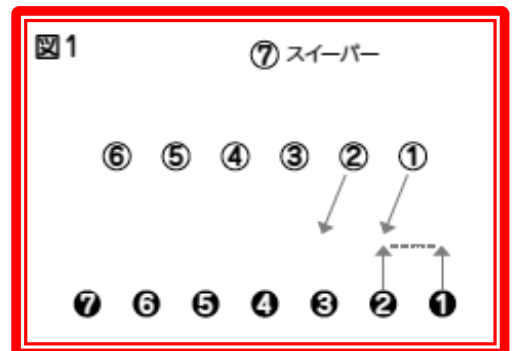
大会当日には1600人の観客が集まり、目論みは成功した。これを機にセブンスはボーダー地方のクラブの間に次々と広まり、その波はやがて世界へ伝わった。

セブンスは東京オリンピック2020でも正式種目に採用されています。

セブンスの特徴

【基本】

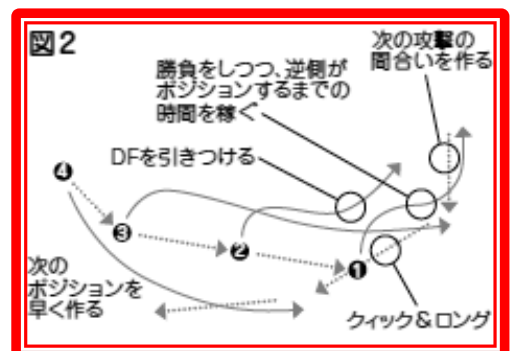
図1のように、7人制のディフェンスでは、相手のキックに備えて一人(スーパー)が後ろに下がる。相手ゴールラインの直前まで攻め込んだときは別だが、一人が後ろにいて、7対6の状況になっているのが基本となる。もしアタック側の右端の選手が左にパスをすれば、図の矢印のようにディフェンスがずれてくる。この時に逆にパスすれば、右に残っていた攻撃側の選手は容易にタッチライン際を抜け出す事ができる。この「切り返し」がアタックの基本的動きとなる。もしスーパーが前に上がってくれば後ろにできたスペースにキックで大きくボールを送ることができる。基本的にオフenseはこの考え方を利用する。



～オフenseスタイル～

【基本攻撃1-ふり戻し-】

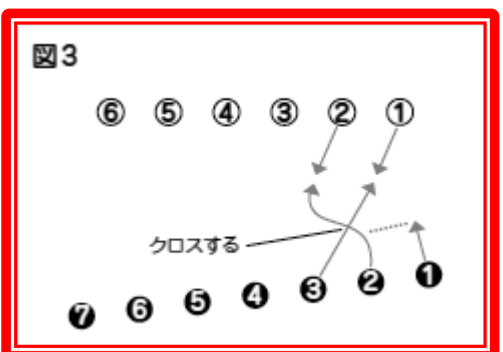
図2のように、4の選手からボールを回し、最後にボールを持った1の選手が右のタッチライン方向に走る。そこに2の選手がボールをショートパスでもらうように走り込むことでディフェンスラインはこの2人に引きつけられてディフェンス側から見て左に寄る。そこで深く位置した3番、4番の選手にパスを深く戻して逆に大きく左を攻める。そうすると、ディフェンスラインは付いてくることができなくなる。



【基本攻撃2-クロス-】

攻撃側の1が2にパスし、2と3がクロスすると図のように、ディフェンス側の1がアタック3に引きつけられて、アタック1の前にはスペースができる。ずれてくる相手を抜こうとすると、どうしても走るコースが流れてしまう。これを逆手にとって、わざと流れてクロスを入れる。

日本代表のサインプレーは、これらの動きをミックスさせている。2の選手が左に流れておいて、右にステップを切っても同じような攻めができる。

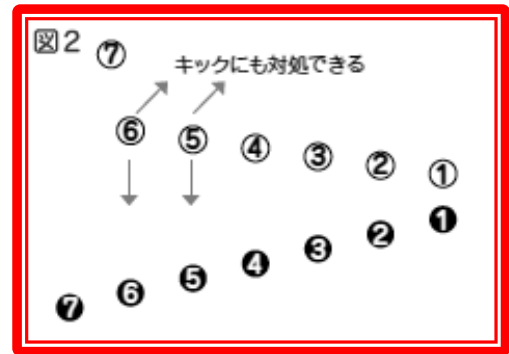
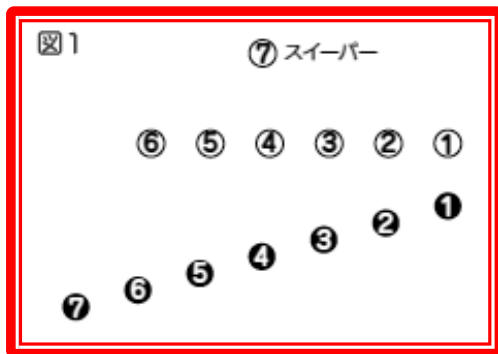


～ディフェンススタイル～

【基本 DF スタイル】

図1のようにDFの基本フォーメーションは、相手のキックに備えて一人（スーパー）が後ろに下がる。スーパーにはキックの対処、抜け出してきた選手のコースを抑え、味方が戻ってくるのを待ちながら的確にタックルを決める役割がある。世界の多くのチームがこのフォーメーションを採用している。

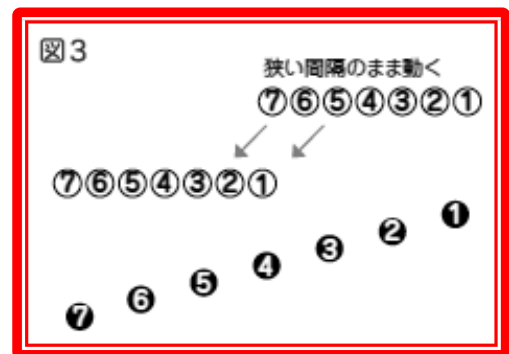
もう一つのスタイルとして、「バナナ DF」がある（図2）。6人が斜めにラインを作り、ボール地点の逆側の選手⑦が後ろに下がる。背後にキックを蹴られた場合、下がり気味の⑤、⑥が相手の攻撃に対処できる。ただ、このDFは思い切って前に出られずに受け身になる。ラン攻撃、キック攻撃の両方に対処しようとするもので、シンビン（一時退場処分）で1人少なくなった時など、6人で守る場合に採用することが多いDF方法である。



【応用 能力に応じたDFスタイル】

DFの大前提は、一人が一人にタックルすることであり、個々人のタックルレンジを広くする、次に横の選手との連携でいかにレンジを広くするかを考える。そして、一カ所に集まらず、一人一人のエリアを守ることが重要である。

個々のDF能力が相手より劣っている場合は、一人一人の間隔を狭くして対応する（図3）。DFラインはコンパクトなラインのまま動き続けなければならない、高い走力が必要となる。ボールを大きく展開された時に弱い、タックル後のボール争奪戦に味方選手がいち早く駆けつけることができる。



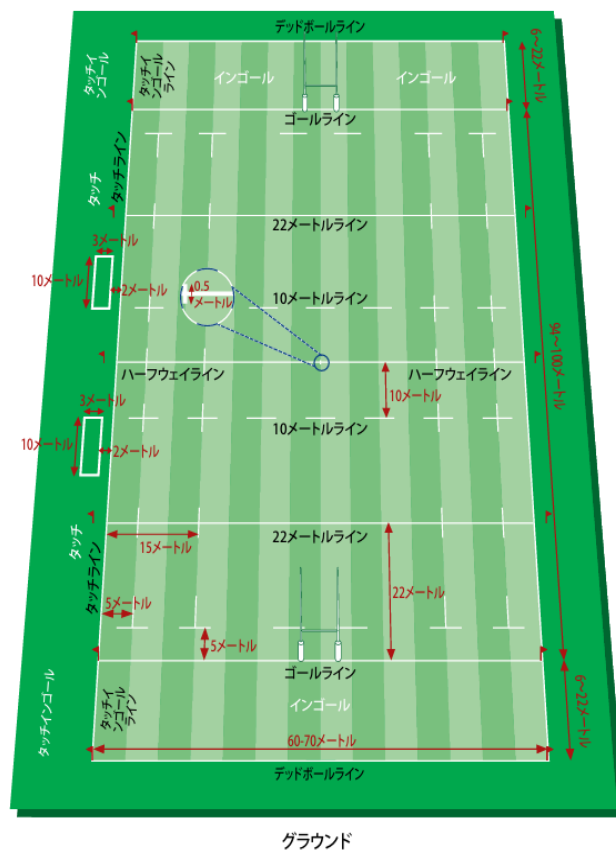
～ラグビーフットボール競技の見どころ(少年男子15人制)～

基本ルール

- ① 味方にボールをパスする場合、前方に投げてはならない。デッドボールラインに平行または後方にパスを出さなければならない。
- ② ボールを前方に送る場合は、ボールを蹴り込むか、持って走らなければならない。
- ③ タックルはボール保持者に対してのみ行うことができる。

得点方法

- ① トライ(T)…5点
相手側のインゴールにおいて、攻撃側の選手が最初にボールをグラウンディングすればトライとなる。ゴールラインはインゴールに含まれる。
- ② コンバージョン(G)…2点
トライをした側に与えられるゴールキック。トライが与えられた地点を通るタッチラインと平行な線上から行う。クロスバーの上、かつ、ゴールポストの間を通過すれば得点となる。プレースキックでもドロップキックでもよい。
- ③ ペナルティトライ(PT)…7点
相手チームによる不正なプレーが、トライが得られる、または、より有利な位置にて得られるのを妨げた場合、ゴールポストの中間に与えられる。原因となった反則を犯したプレーヤーは、注意を受けるか、一時的退出か退場とならなければならない。コンバージョンは行わない。
- ④ ペナルティゴール(PG)…3点
重い反則があった場合、相手側にはペナルティキックが与えられる。コンバージョン同様、キックしたボールがゴールポストの間を通過すると得点となる。プレースキックでもドロップキックでもよい。
- ⑤ ドロップゴール(DG)…3点
オープンプレーの中でボールをワンバウンドさせてキックを行うドロップキックからゴールすることでドロップゴールとなる。コンバージョン同様、キックしたボールがゴールポストの間を通過すると得点となる。



グラウンド

ポジション紹介



15のポジション One for All, All for One.

1人はみんなのために、みんなは1人のために

PR プロップ

スクラムの要で体重、筋力、押しのパワーは迫力満点。「チームの重量選手」

HO フッカー

スクラムに投入されたボールを足でかき出す。ラインアウトのスローワーも担う。

LO ロック

ラインアウトのジャンパー。FWの中心プレーヤー。前列3人をしっかり固める。

FL フランカー

縦横無尽の遊撃部隊。BKもサポートして走る「チーム一忙しい」ポジション。

No.8 ナンバーエイト

機動力、俊敏性、突進力を兼ね備えた攻防の中心となるマルチプレーヤー。FWの花形。

SH スクラムハーフ

FWとBKのパイプ役。スピード、判断力に優れ「体が小さくても活躍できる」戦術家。

SO スタンドオフ

BK攻撃の起点となる、冷静沈着な司令塔。状況判断力に優れたゲームメーカー。

CTB センター

攻防の要。突破力、強いタックルが要求される。敵陣深く進みウイングを生かす。

WTB ウイング

チーム最速足の「トライゲッター」。高い運動量と優れたステップワークでトライする。

FB フルバック

「チームの守護神」。ディフェンスの司令塔。高いキック力、ハンドリング能力。最後の砦。

ノーサイドの精神

「ノーサイド」という言葉は試合終了を意味するラグビーならではの表現ですが、単に試合終了という意味だけでなく、ベストを尽くして激しくぶつかりあった両チームが、試合が終われば敵味方なくお互いの健闘をたたえ合い、ラグビーを愛する仲間になるという意味を持ちます。そして、同じフィールドで戦った仲間として友情を築こうというのが「ノーサイドの精神」です。これこそがラグビー選手の誇りとするところであり、この精神はラグーマンの最も大切な心とされています。

基本プレー

スクラム

ノックオンやスローフォワード等の軽度の反則や競技の中断があった場合、ボール獲得のためのプレー再開する方法です。双方8名ずつのプレイヤーが右図のように組み合います。原則、反則をしていないチームがボールを投入します。



※19歳未満では・・・

- ・故意でなく45度以上回転された場合、スクラムを組みなおします。組み直される時は、その前のスクラムでボールを投入したチームが引き続き投入します。
- ・相手のゴールラインに向け、1.5m以上押してはいけません。(FK)
- ・ボールをかかとで蹴り操りながら、スクラムの中にとどめてはいけません。(FK)

ラインアウト

ボールまたはボールを持ったプレイヤーがタッチラインを越える、または触れた場合にラインアウトとなります。ラインアウトは右図のようにマークオブタッチ上で形成されます。マークオブタッチはゴールラインから5m以上離れていなければなりません。

ボールを投入する側はボールを投入するプレイヤーを除き、最低2名以上参加する必要があります。通常はフォワードの選手7名が並びます。

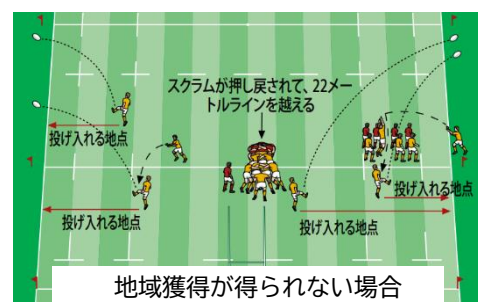


ペナルティからのタッチキックの場合は、ボールがタッチラインを越えたところでキックをした側のボールでラインアウトとなりますが、それ以外の場合は相手チームボールの投入によるラインアウトとなります。

ダイレクトタッチ

キックしたボールがダイレクトにタッチラインを越えることを指します。22mラインの内側からボールを蹴った場合、ボールがタッチラインを越えたところで相手側の投入によるラインアウトとなります。

22mラインの外側から蹴ったボールがダイレクトタッチだった場合は、ボールを蹴った地点からゴールラインと平行線上のボールが出た側のタッチラインで相手側の投入によるラインアウトとなります。



また、22mラインの外側にあったボールを22mライン内側に一度戻して蹴ったボールがダイレクトタッチになった場合も同様にボールを蹴った位置からの相手側の投入によるラインアウトとなります。

ペナルティキックから蹴った場合は蹴った位置に関わらず、タッチラインから出た地点での蹴った側のチームの投入によるラインアウトとなります。

50:22

自陣にいるプレイヤーが、ボールを蹴って相手陣の22メートル内で間接的（ワンバウンド以上させた後）にタッチになった場合、蹴り出したチームがボールを自陣に持ち込まなかったか、そのチームの自陣内でタックルが行われたかラックまたはモールが形成された場合は、蹴った側のチ

ームによる投入でラインアウトが行われます。

ドロップアウト

<22メートルライン ドロップアウト>

ペナルティーゴールまたは、ドロップゴールの失敗、あるいはドロップアウトが防御側のチームによってインゴール内にグラウンディングされた場合、もしくは、これらの試みのいずれかによってボールがデッドになった場合、防御側の22メートル地点でのドロップアウトによってプレーが再開されます。

<ゴールライン ドロップアウト>

下記 a~c の場合、防御側のゴールライン上、またはその後方でのドロップアウトによってプレーが再開されます。

- a 攻撃側のプレーヤーによってボールがプレーされた、または、インゴールに持ち込まれ、その後、相手側のプレーヤーによってヘルドアップ（グラウンディングできない状態）となり、グラウンディングされた、あるいは、競技規則に反することなくデッドにされた。
- b キックオフ、得点後の試合再開のキック、ドロップゴール、ドロップアウト、または、ペナルティキックを除く攻撃側のキックが、防御側のチームによって自陣のインゴール内でグラウンディングされた、または、デッドにされた。
- c 攻撃側のプレーヤーが、相手陣のインゴール内でノックオンした。

モール・ラック

双方のプレーヤーがボールを争奪する行為です。

モールとは、地面についていないボールを争奪することで、ボールを持ったプレーヤーと双方少なくとも1名ずつのプレーヤーが互いにバインドし、立ったままの状態になることで成立します。

ラックとは、地面にあるボールを争奪することで、双方少なくとも1名ずつのプレーヤーが立った状態で地面にあるボールに組み合うことで形成されます。

モール・ラックともに、成立後にそれぞれのチームに下図のようなオフサイドラインが形成されます。



モール



ラック

アンプレアブル

モール・ラックからボールがでない場合にレフリーの判断でアンプレアブルとなります。

その場合、スクラムによって再開されます。

ラックアンプレアブルの場合は最後に前進していたチームのボール、どちらのチームも前進していない場合は、攻撃側チームのボールでスクラムとなります。

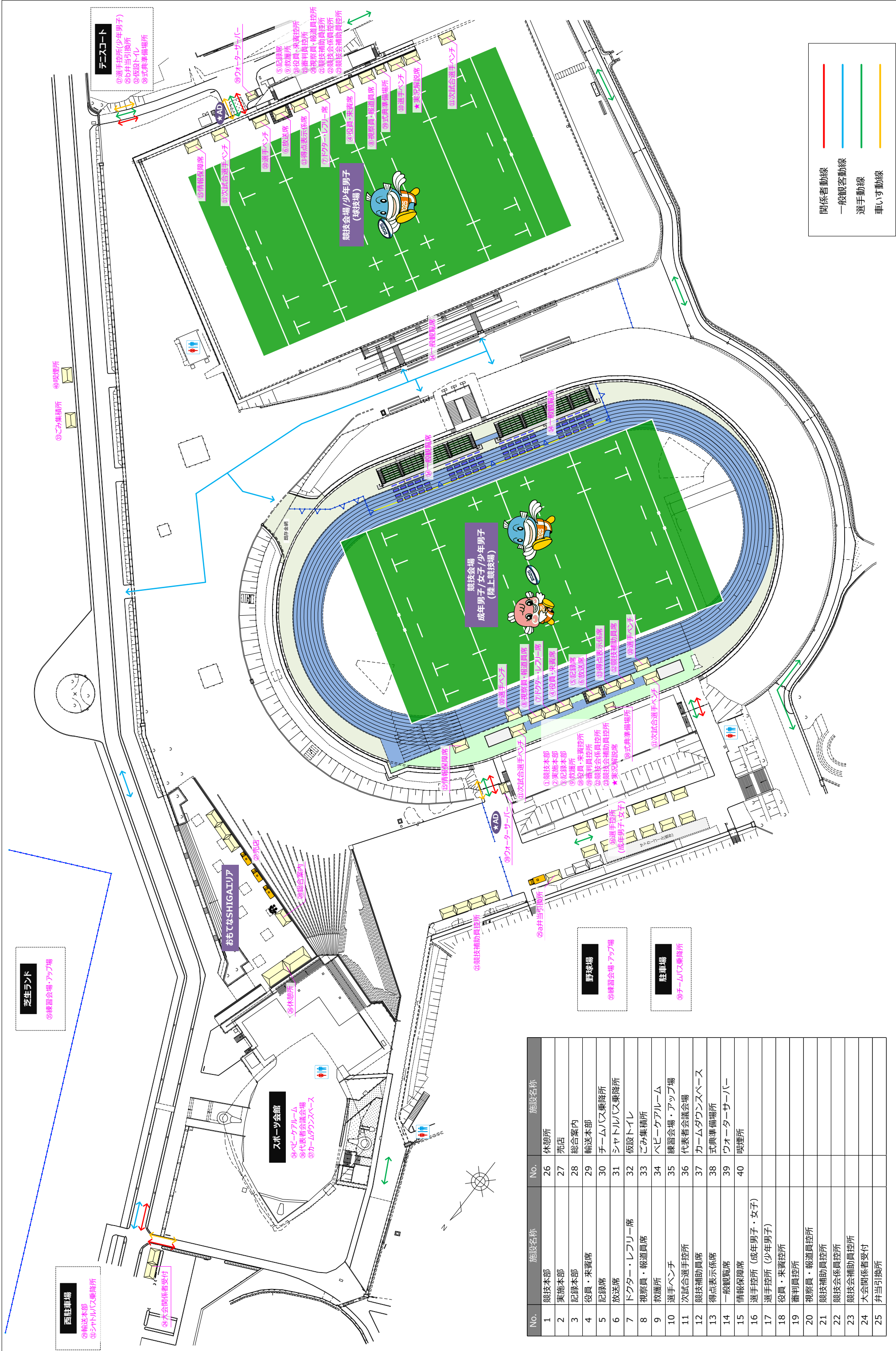
モールアンプレアブルの場合はモール開始時にボールを保持していなかった側のボールでスクラムとなります。

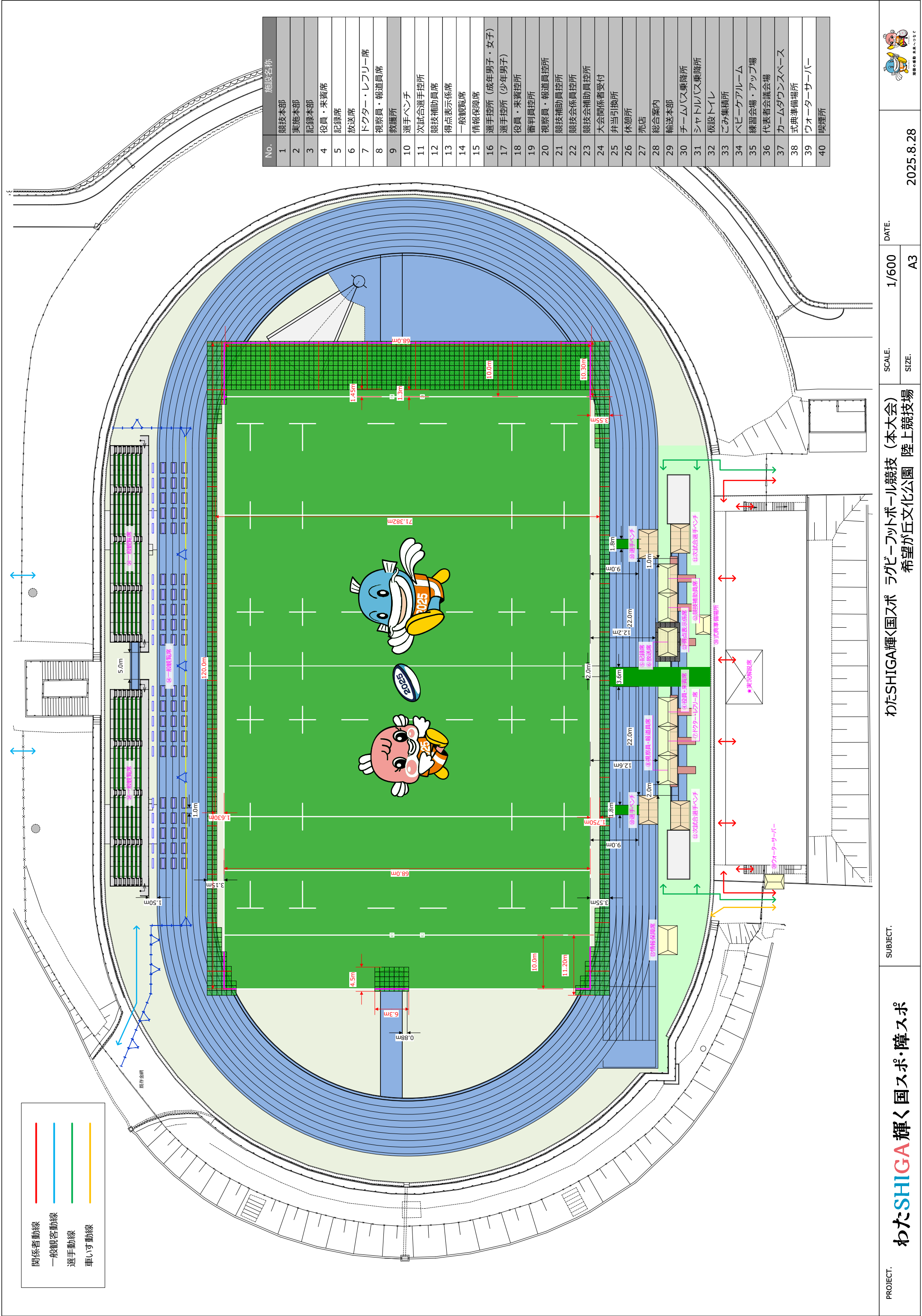
イエローカード(シン・ビン)とレッドカード

不正なプレー(妨害、不当なプレー、反則を繰り返す、危険なプレー、不行跡など)を行ったプレーヤーは、注意を受けるか、一時的退出、または、退場となる。レフリーは注意を与えて※10分間の一時的退場を命じたプレーヤーに対し、イエローカードを示します(シン・ビン)。退場の場合はレッドカードを示し、退場を命じます。

※国スポ(少年男子 15 人制)では7分間とします。

No.	施設名称	No.	施設名称
1	競技本部	26	休憩所
2	実施本部	27	売店
3	記録本部	28	総合案内
4	役員・来賓席	29	輸送本部
5	記録席	30	チームバス乗降所
6	放送席	31	シャトルバス乗降所
7	ドクター・レフリー席	32	仮設トイレ
8	視察員・報道員席	33	ごみ集積所
9	救護所	34	ベビーケアルーム
10	選手ベンチ	35	練習会場・アップ場
11	次試合選手控所	36	代表者会議会場
12	競技補助員席	37	カームダウンスペース
13	得点表示係席	38	式典準備場所
14	一般観覧席	39	ウォーターサーバー
15	情報保障席	40	喫煙所
16	選手控所（成年男子・女子）		
17	選手控所（少年男子）		
18	役員・来賓控所		
19	審判員控所		
20	視察員・報道員控所		
21	競技補助員控所		
22	競技会係員控所		
23	競技会補助員控所		
24	大会関係者受付		
25	弁当引換所		





関係者動線

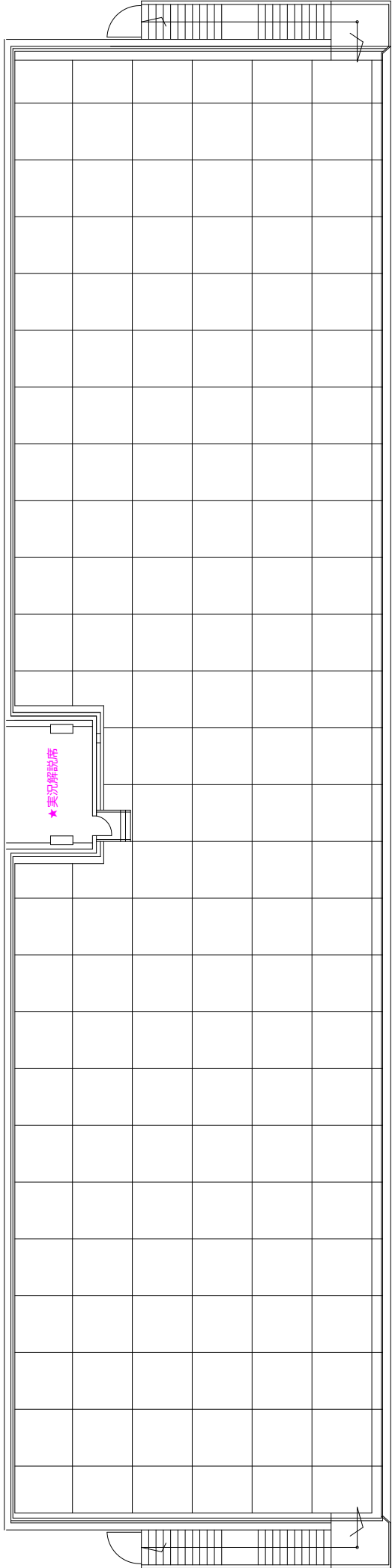
一般観客動線

選手動線

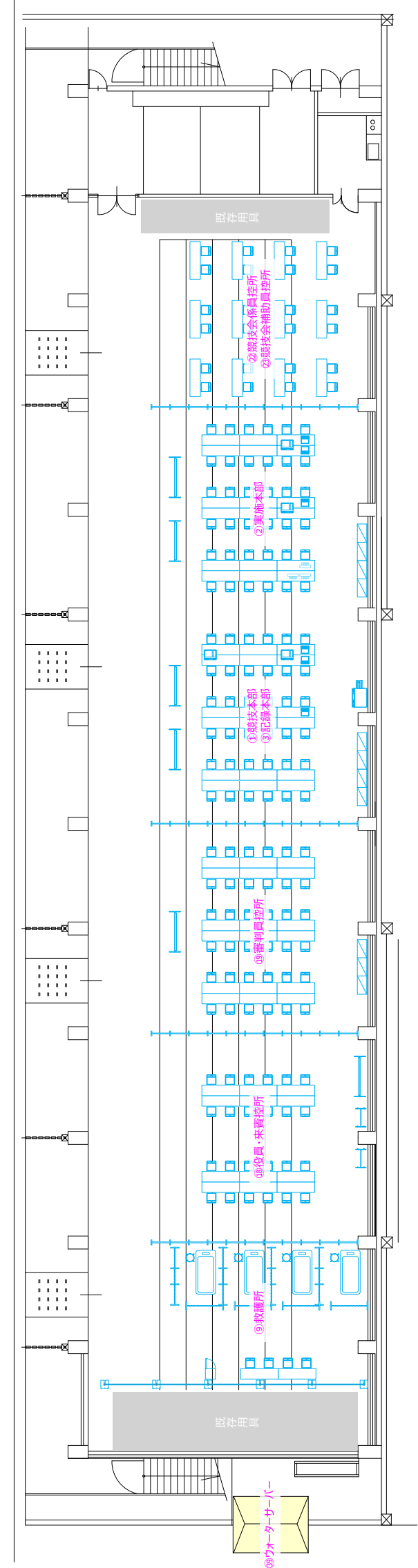
車いす動線

No.	施設名称
1	競技本部
2	実施本部
3	記録本部
4	役員・来賓席
5	記録席
6	放送席
7	ドクター・レフリー席
8	視察員・報道員席
9	救護所
10	選手ベンチ
11	次試合選手控所
12	競技補助員席
13	得点表示係席
14	一般観覧席
15	情報保障席
16	選手控所（成年男子・女子）
17	選手控所（少年男子）
18	役員・来賓控所
19	審判員控所
20	視察員・報道員控所
21	競技補助員控所
22	競技会係員控所
23	競技会補助員控所
24	大会関係者受付
25	弁当引換所
26	休憩所
27	売店
28	総合案内
29	輸送本部
30	チームバス乗降所
31	シャトルバス乗降所
32	仮設トイレ
33	ごみ集積所
34	ベビーカーアールーム
35	練習会場・アップ場
36	代表者会議会場
37	カームダウンスペース
38	式典準備場所
39	ウォーターサーバー
40	喫煙所

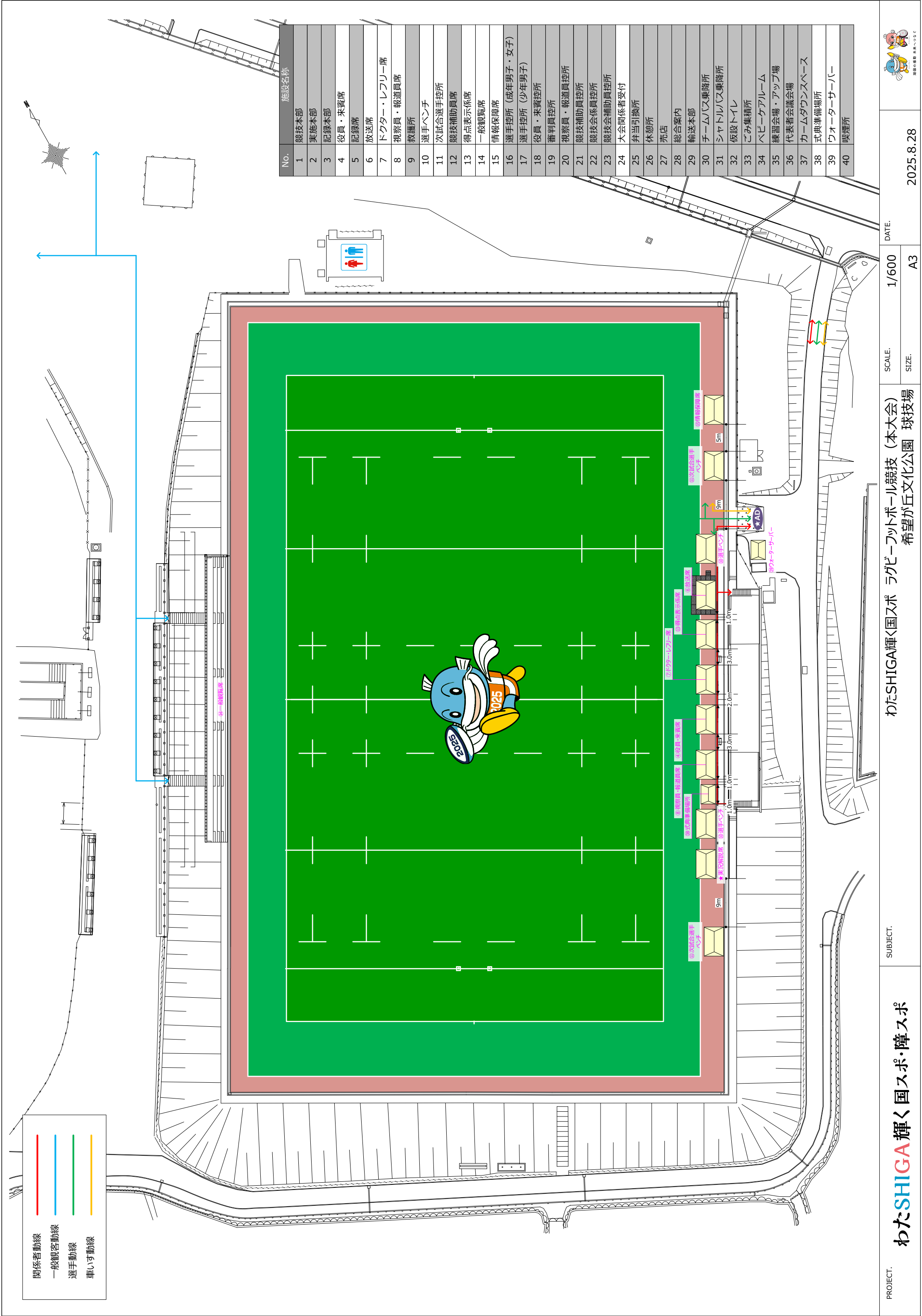
「2F」



「1F」

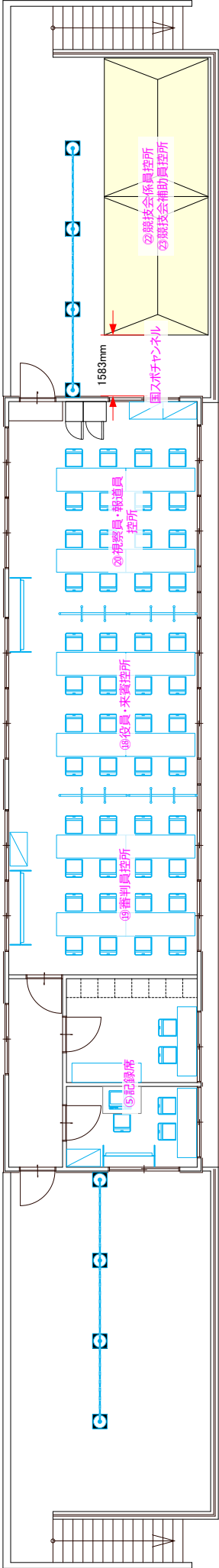


No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	競技本部	11	次試合選手控所	21	競技補助員控所	31	シャトルバス乗降所
2	実施本部	12	競技補助員席	22	競技会係員控所	32	仮設トイレ
3	記録本部	13	得点表示係席	23	競技会補助員控所	33	ごみ集積所
4	役員・来賓席	14	一般観覧席	24	大会関係者受付	34	ベビーゲアールーム
5	記録席	15	情報保障席	25	弁当引換所	35	練習会場・アップ場
6	放送席	16	選手控所 (成年男子・女子)	26	休憩所	36	代表者会議会場
7	ドクター・レフリー席	17	選手控所 (少年男子)	27	売店	37	カームダウンスペース
8	視察員・報道員席	18	役員・来賓控所	28	総合案内	38	式典準備場所
9	救護所	19	審判員控所	29	輸送本部	39	ウォーターサーバー
10	選手ベンチ	20	視察員・報道員控所	30	チームバス乗降所	40	喫煙所

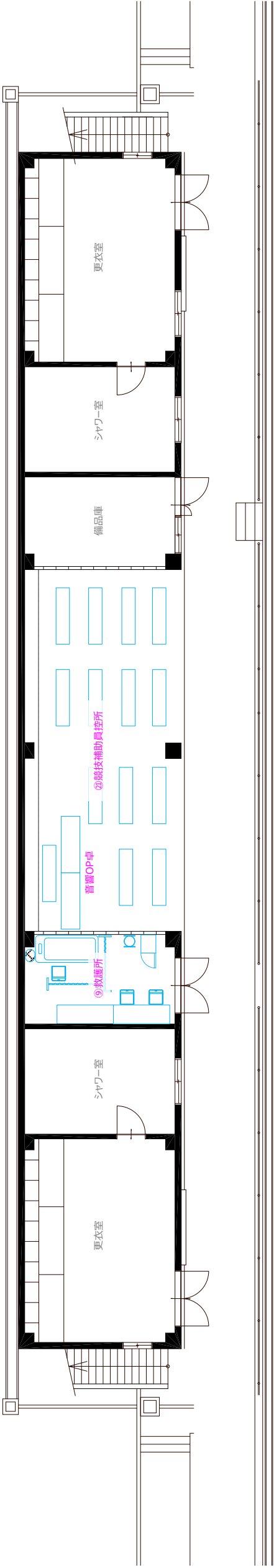


No.	施設名称
1	競技本部
2	実施本部
3	記録本部
4	役員・来賓席
5	記録席
6	放送席
7	ドクター・レフリー席
8	視察員・報道員席
9	救護所
10	選手ベンチ
11	次試合選手控所
12	競技補助員席
13	得点表示係席
14	一般観覧席
15	情報保障席
16	選手控所 (成年男子・女子)
17	選手控所 (少年男子)
18	役員・来賓控所
19	審判員控所
20	視察員・報道員控所
21	競技補助員控所
22	競技会係員控所
23	競技会補助員控所
24	大会関係者受付
25	弁当引換所
26	休憩所
27	売店
28	総合案内
29	輸送本部
30	チームバス乗降所
31	シャトルバス乗降所
32	仮設トイレ
33	ごみ集積所
34	ベビーケアルーム
35	練習会場・アップ場
36	代表者会議会場
37	カームダウンスペース
38	式典準備場所
39	ウォーターサーバー
40	喫煙所

«2F»

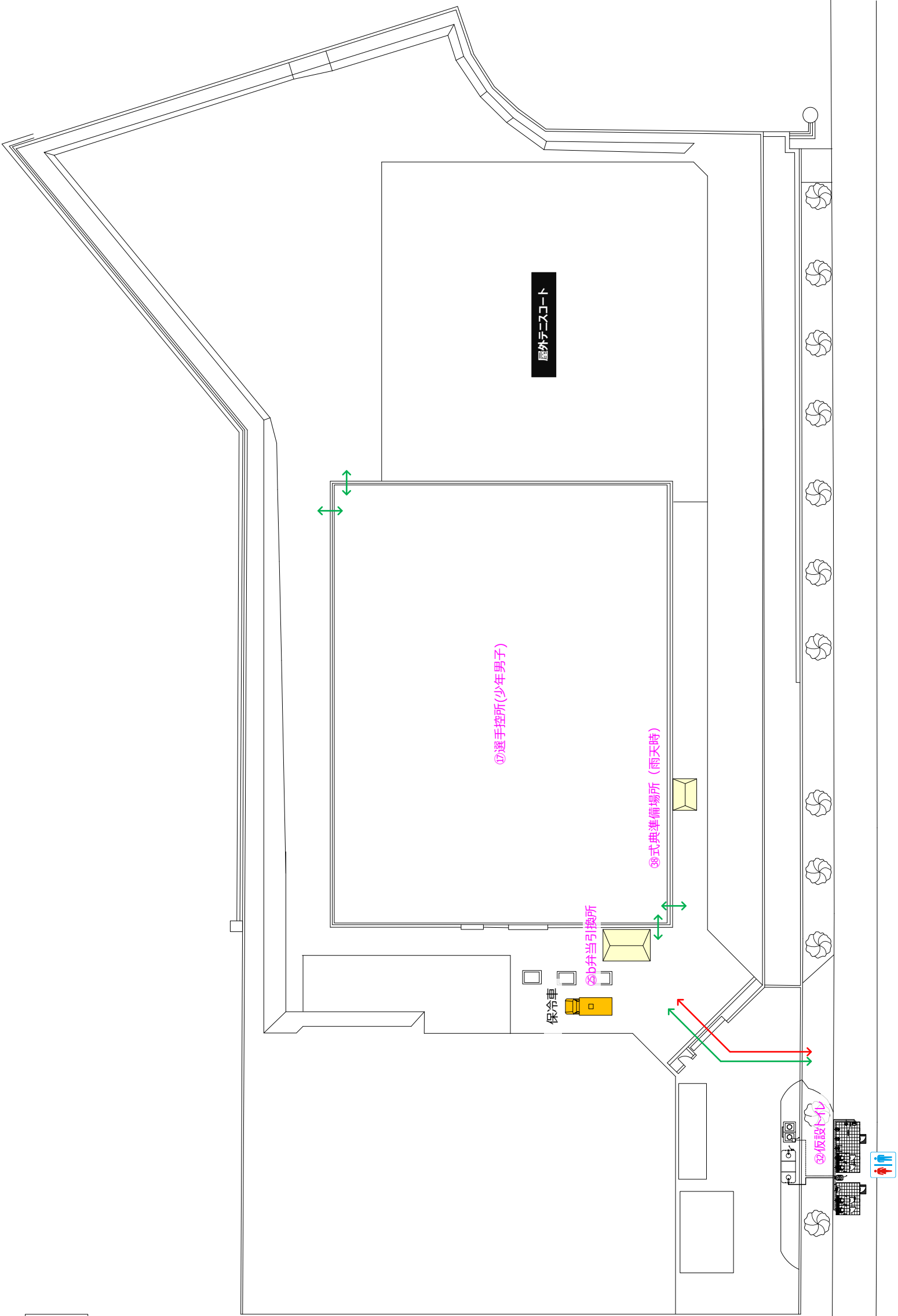


«1F»

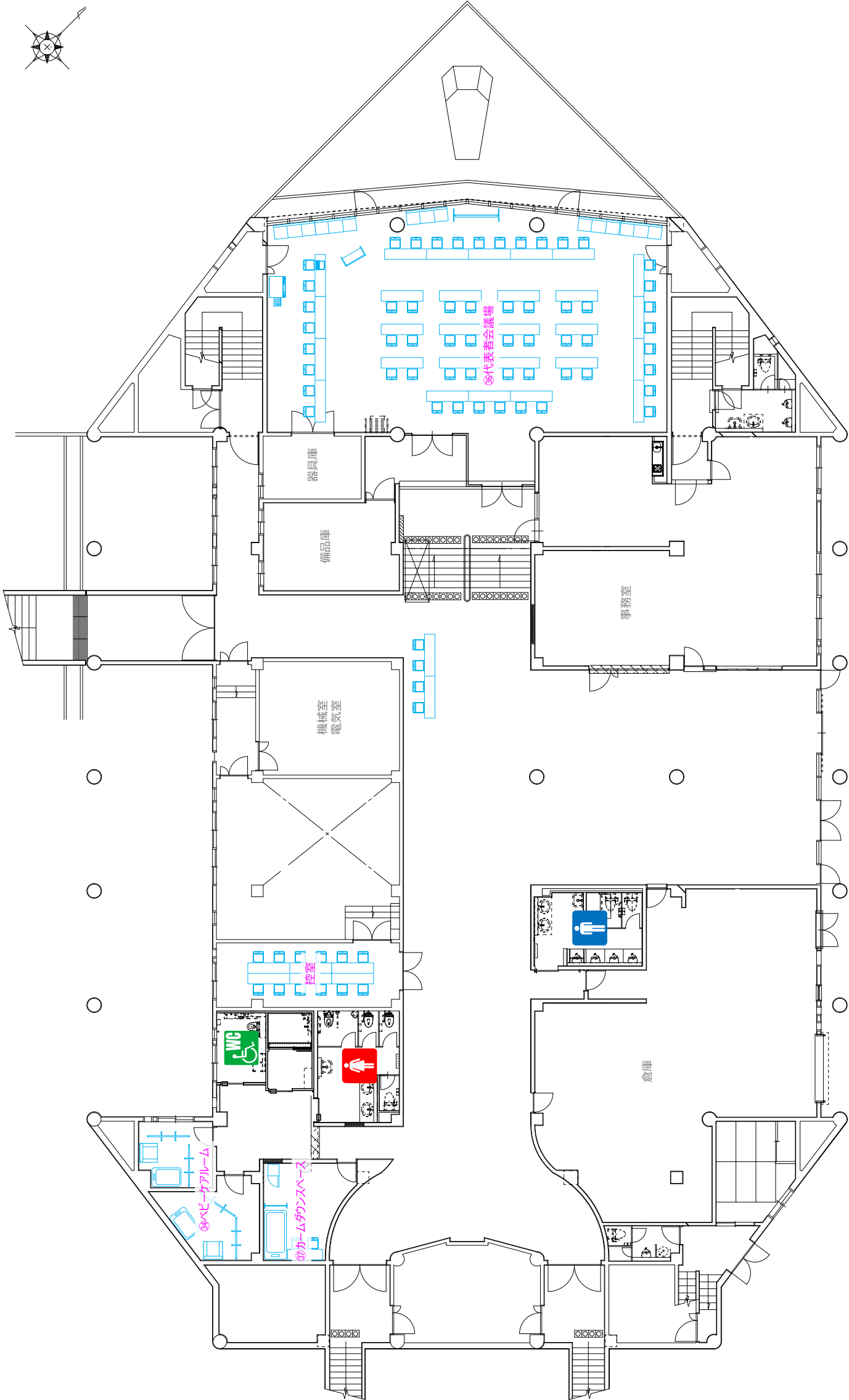


No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	競技本部	11	次試合選手控所	21	競技補助員控所	31	シャトルバス乗降所
2	実施本部	12	競技補助員席	22	競技会係員控所	32	仮設トイレ
3	記録本部	13	得点表示係席	23	競技会補助員控所	33	ごみ集積所
4	役員・来賓席	14	一般観覧席	24	大会関係者受付	34	ペビークエアルーム
5	記録席	15	情報保障席	25	弁当引換所	35	練習会場・アップ場
6	放送席	16	選手控所 (成年男子・女子)	26	休憩所	36	代表者会議会場
7	ドクター・レフリー席	17	選手控所 (少年男子)	27	売店	37	カームダウンスペース
8	視察員・報道員席	18	役員・来賓控所	28	総合案内	38	式典準備場所
9	救護所	19	審判員控所	29	輸送本部	39	ウォーターサーバー
10	選手ベンチ	20	視察員・報道員控所	30	チームバス乗降所	40	喫煙所

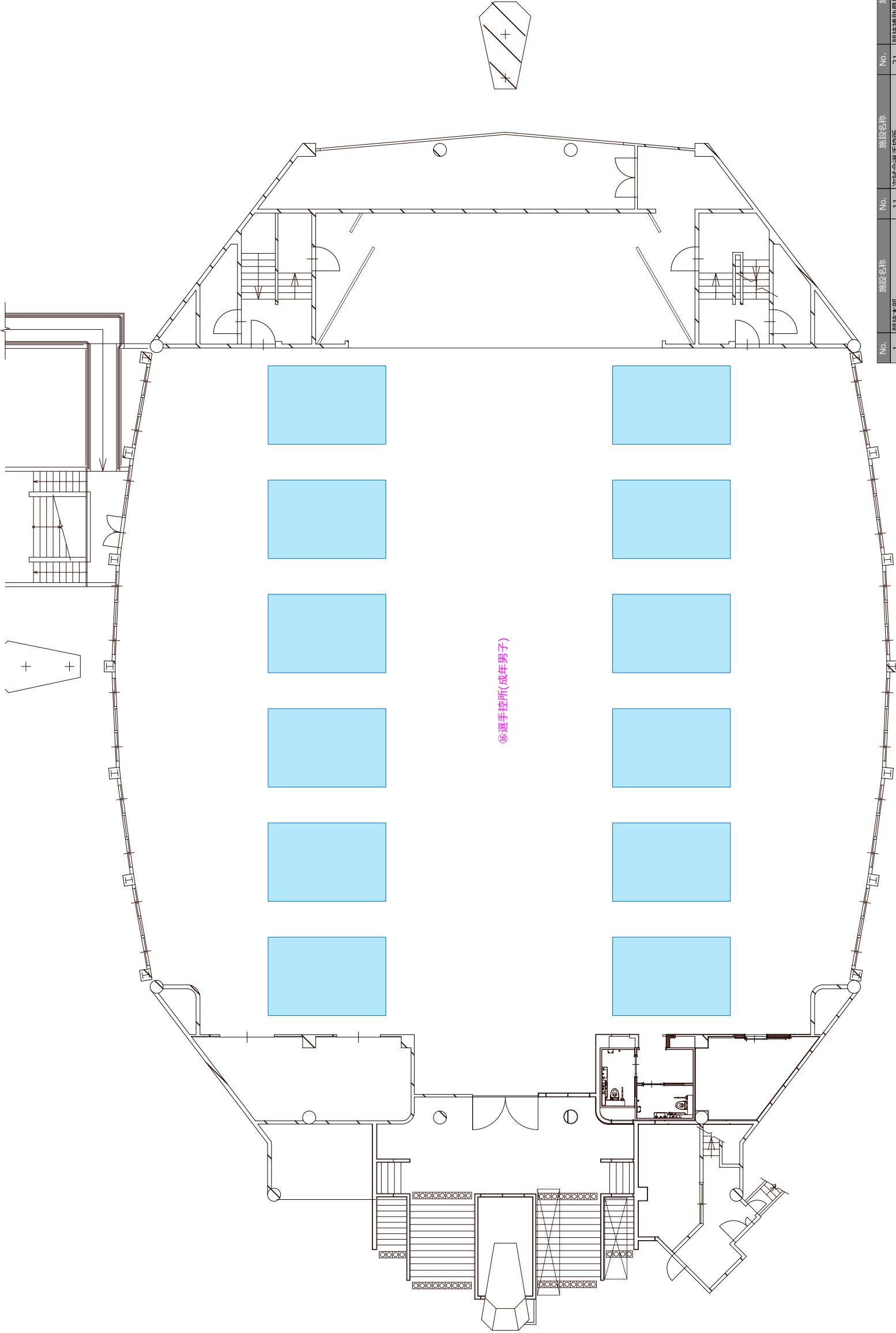
関係者動線
選手動線



No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	競技本部	11	次試合選手控所	21	競技補助員控所	31	シャトルバス乗降所
2	実施本部	12	競技補助員席	22	競技係員控所	32	仮設トイレ
3	記録本部	13	得点表示係席	23	競技会補助員控所	33	ごみ集積所
4	役員・来賓席	14	一般観覧席	24	大会関係者受付	34	ベビーケアーーム
5	記録席	15	情報保障席	25	弁当引換所	35	練習会場・アップ場
6	放送席	16	選手控所 (成年男子・女子)	26	休憩所	36	代表者会議会場
7	ドクター・レフリー席	17	選手控所 (少年男子)	27	売店	37	カームダウンスペース
8	視察員・報道員席	18	役員・来賓控所	28	総合案内	38	式典準備場所
9	救護所	19	審判員控所	29	輸送本部	39	ウォーターサーバー
10	選手ベンチ	20	視察員・報道員控所	30	チームバス乗降所	40	喫煙所



No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	競技本部	11	次試合選手控所	21	競技補助員控所	31	シャトルバス乗降所
2	実施本部	12	競技補助員席	22	競技会係員控所	32	仮設トイレ
3	記録本部	13	得点表示係席	23	競技会補助員控所	33	ごみ集積所
4	役員・来賓席	14	一般観覧席	24	大会関係者受付	34	ベビーケアルーム
5	記録席	15	情報係席	25	弁当引換所	35	練習会場・アップ場
6	放送席	16	選手控所 (成年男子・女子)	26	休憩所	36	代表者会議会場
7	ドクター・レフリー席	17	選手控所 (少年男子)	27	売店	37	カームダウンスペース
8	視察員・報道員席	18	役員・来賓控所	28	総合案内	38	式典準備場所
9	救護所	19	審判員控所	29	輸送本部	39	ウォーターサーバー
10	選手ベンチ	20	視察員・報道員控所	30	チームバス乗降所	40	喫煙所



④選手控所(成年男子)

No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	競技本部	11	次試合選手控所	21	競技補助員控所	31	シャトルバス乗降所
2	実施本部	12	競技補助員席	22	競技会係員控所	32	仮設トイレ
3	記録本部	13	得点表示係席	23	競技会補助員控所	33	ごみ集積所
4	役員・来賓席	14	一般観覧席	24	大会関係者受付	34	ペビークアールーム
5	記録席	15	情報提供席	25	弁当引換所	35	練習会場・アップ場
6	放送席	16	選手控所(成年男子・女子)	26	休憩所	36	代表者会議会場
7	ドクター・レフリー席	17	選手控所(少年男子)	27	売店	37	カーンプラウンスベース
8	視察員・報道員席	18	役員・来賓控所	28	総合案内	38	式典準備場所
9	救護所	19	審判員控所	29	輸送本部	39	フオートーサーバー
10	選手ベンチ	20	視察員・報道員控所	30	チームバス乗降所	40	喫煙所

大会関係連絡先一覧（滋賀県）


◎実行委員会事務局

名称	所在地	電話番号
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 実行委員会事務局	〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号	077-528-3695

◎競技会場

名称	所在地	電話番号
滋賀県希望が丘文化公園	〒520-2321 滋賀県野洲市北桜978	077-588-3251

◎医療機関

名称	連絡先・リンク先	
済生会滋賀病院	〒520-3046 滋賀県栗東市大橋二丁目4番1号	077-552-1221
滋賀県立総合病院	〒524-0022 滋賀県守山市守山五丁目4番30号	077-582-5031
済生会守山市民病院	〒524-0022 滋賀県守山四丁目14番1号	077-582-5151
医療ネット滋賀	URL : https://www.shiga.iryo-navi.jp/qqport/kenmintop/	

◎国スポ関連SNS

名称	リンク先	
X（旧Twitter）	URL : https://x.com/2025shiga	
YouTube	URL : https://www.youtube.com/@user-tj4le9me9j	
Instagram	URL : https://www.instagram.com/2025shiga/	
大会ホームページ	URL : https://shiga-sports2025.jp/	



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN  GAMES を応援しています。



大塚製薬



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPPO

Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど) に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち
スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



JSPPO事業についてはこちら»»»JSPPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPPO

Japan Sport Association

グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

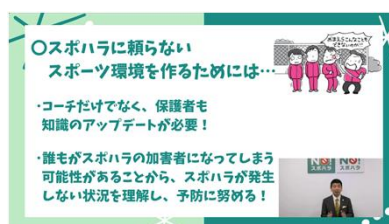


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

JAPAN GAMESパートナー（JSPO）



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

JAPAN GAMESパートナー（SHIGA）

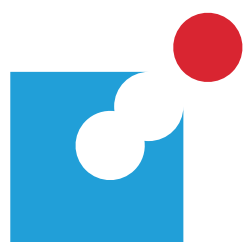
SEKISUI



滋賀銀行



平和堂



綾羽

muRata

協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

JAPAN GAMESパートナー（SHIGA）

'TORAY'



SGH文化スポーツ振興財団

Nitto



協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

オフィシャルスポンサー

大和証券

Daiwa Securities



高分子素材のハード&ソフトメーカー

甲賀高分子株式会社



NTT西日本



ISHIDA

HORIBA



日本軽金属ケル-7°

日軽/パネルシステム 滋賀日軽

HEISHIN



食材データバンク

フジノ食品



JAグループ滋賀

公益財団法人

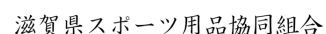
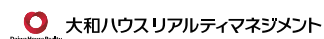
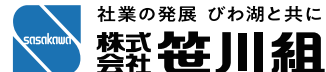
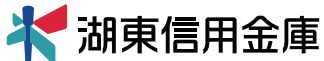


平和堂財団

協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

オフィシャルスポンサー



協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

オフィシャルサプライヤー



トヨタ モビリティ滋賀株式会社



ネットトヨタびわこ株式会社



滋賀日産自動車

日産プリンス滋賀販売株式会社



株式会社 京滋マツダ



株式会社スズキ自販滋賀



Honda Cars 滋賀南



Honda Cars 滋賀東



協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

オフィシャルサプライヤー



たね也

協賛企業・団体一覧

令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

大会協力企業

- | | | |
|-----------------------|-----------------------------|--------------------|
| ■滋賀県生活協同組合連合会 | ■三井化学株式会社 | ■滋賀県遊技業協同組合 |
| ■びわ湖放送株式会社 | ■日本体育施設株式会社 | ■株式会社セブン-イレブン・ジャパン |
| ■株式会社エフエム滋賀 | ■たち建設株式会社 | ■JAレーク滋賀 |
| ■株式会社ルイ高 | ■住友生命保険相互会社滋賀支社 | ■JAこうか |
| ■一般社団法人滋賀県警備業協会 | ■株式会社あいむ | ■JAグリーン近江 |
| ■近江鍛工株式会社 | ■株式会社山久 | ■JA滋賀蒲生町 |
| ■一般社団法人滋賀県造園協会 | ■セコム株式会社 | ■JA東能登川 |
| ■げんさん | ■株式会社Liam | ■JA湖東 |
| ■ニッポンレンタカー関西株式会社 | ■日本生命保険相互会社滋賀支社 | ■JA東びわこ |
| ■株式会社中広 | ■リコージャパン株式会社 滋賀支社 | ■JAレーク伊吹 |
| ■株式会社activo | ■キャノンマシナリー株式会社 | ■JA北びわこ |
| ■株式会社山正 | ■アイنز株式会社 | ■JAバンク滋賀信連 |
| ■株式会社ファミリーマート | ■株式会社アダムスセキュリティ | ■JA全農しが |
| ■株式会社誠進堂 | ■株式会社UACJ押出加工滋賀 | ■JA共済連滋賀 |
| ■高木メリヤス株式会社 | ■株式会社サンセブン エグズ | |
| ■MARUGO株式会社 | ■株式会社ユタカファーマシー | |
| ■積水多賀化工株式会社 | ■AZUSA SKIN&WELLNESS CLINIC | |
| ■野村證券株式会社 大津支店 | ■琵琶湖汽船株式会社 | |
| ■ヤマジックス株式会社 | ■花キューピット 滋賀支部 | |
| ■株式会社ディーソル | ■日野精機株式会社 | |
| ■株式会社IHII回転機械エンジニアリング | ■バイオエックス株式会社 | |
| ■株式会社ディーアクト | ■滋賀県司法書士会 | |
| ■株式会社滋賀松風 | ■キッコーマン食品株式会社 | |
| ■トラヤ商事株式会社 | ■株式会社ジーテクト | |
| ■共栄工業株式会社 | ■株式会社ホタルクス | |
| ■株式会社Grape Marketing | ■東洋紡株式会社 | |
| ■JNCファイバース株式会社 | ■アマナエレン株式会社 | |
| ■株式会社聖心製作所 | ■近江印刷株式会社 | |
| ■日本中央競馬会栗東トレーニング・センター | ■新旭電子工業株式会社 | |
| ■株式会社尾賀亀 | ■サカタインクス株式会社 | |
| ■東洋化学株式会社 | ■村井建設株式会社 | |

協賛企業・団体一覧

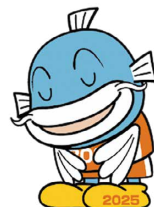
令和7年7月22日現在（順不同・敬称略）

募金者一覧

- | | | |
|------------------|------------------------|-------------------|
| ■綾羽株式会社 | ■関西電力株式会社 | ■湖北工業株式会社 |
| ■滋賀県ゴルフ場協会 | ■滋賀運送株式会社 | ■公益財団法人日母おぎやー献金基金 |
| ■株式会社滋賀銀行 | ■株式会社SCREENホールディングス | ■三菱ロジスネクスト株式会社 |
| ■公益財団法人河本文教福祉振興会 | ■京滋信用組合 | ■白井商事株式会社 |
| ■株式会社関西みらい銀行 | ■有限会社竜王興産 | |
| ■JAグループ滋賀 | ■彦根ライオンズクラブ | |
| ■株式会社奥田工務店 | ■滋賀建機株式会社 | |
| ■株式会长栄 | ■株式会社アヤハレークサイドホテル | |
| ■ツルタホールディングス株式会社 | ■新江州株式会社 | |
| ■株式会社桑原組 | ■大幸生コン株式会社 | |
| ■株式会社大山建設 | ■大戸警備保障株式会社 | |
| ■株式会社内田組 | ■株式会社ビュー | |
| ■アース製薬株式会社 | ■株式会社MURANAGA | |
| ■株式会社伊藤組 | ■株式会社アクト | |
| ■株式会社コスモネット | ■株式会社秋村組 | |
| ■アヤハ不動産株式会社 | ■西嶋 栄治 | |
| ■株式会社アヤハディオ | ■高島鋳建株式会社 | |
| ■伊藤忠商事株式会社 | ■大阪ガス株式会社 | |
| ■フジテック株式会社 | ■馬場 貴也 | |
| ■河本 英典 | ■株式会社来来亭 | |
| ■公益財団法人平和堂財団 | ■株式会社メタルアート | |
| ■金山 昭夫 | ■株式会社ホリゾン | |
| ■株式会社山崎砂利商店 | ■滋賀中央信用金庫 | |
| ■朝日電器株式会社 | ■株式会社佐藤医科器械製作所 | |
| ■滋賀倉庫土地株式会社 | ■杉橋建設株式会社 | |
| ■株式会社叶匠寿庵 | ■日本生命保険相互会社 | |
| ■旭化成株式会社守山製造所 | ■株式会社水研設備 | |
| ■山田運送株式会社 | ■株式会社ビルディング・コンサルタントワイズ | |
| ■奥田 秀 | ■大塚オーミ陶業株式会社 | |
| ■平山 正 | ■TOPPAN株式会社 | |
| ■株式会社山久 | ■ダイキン工業株式会社 | |

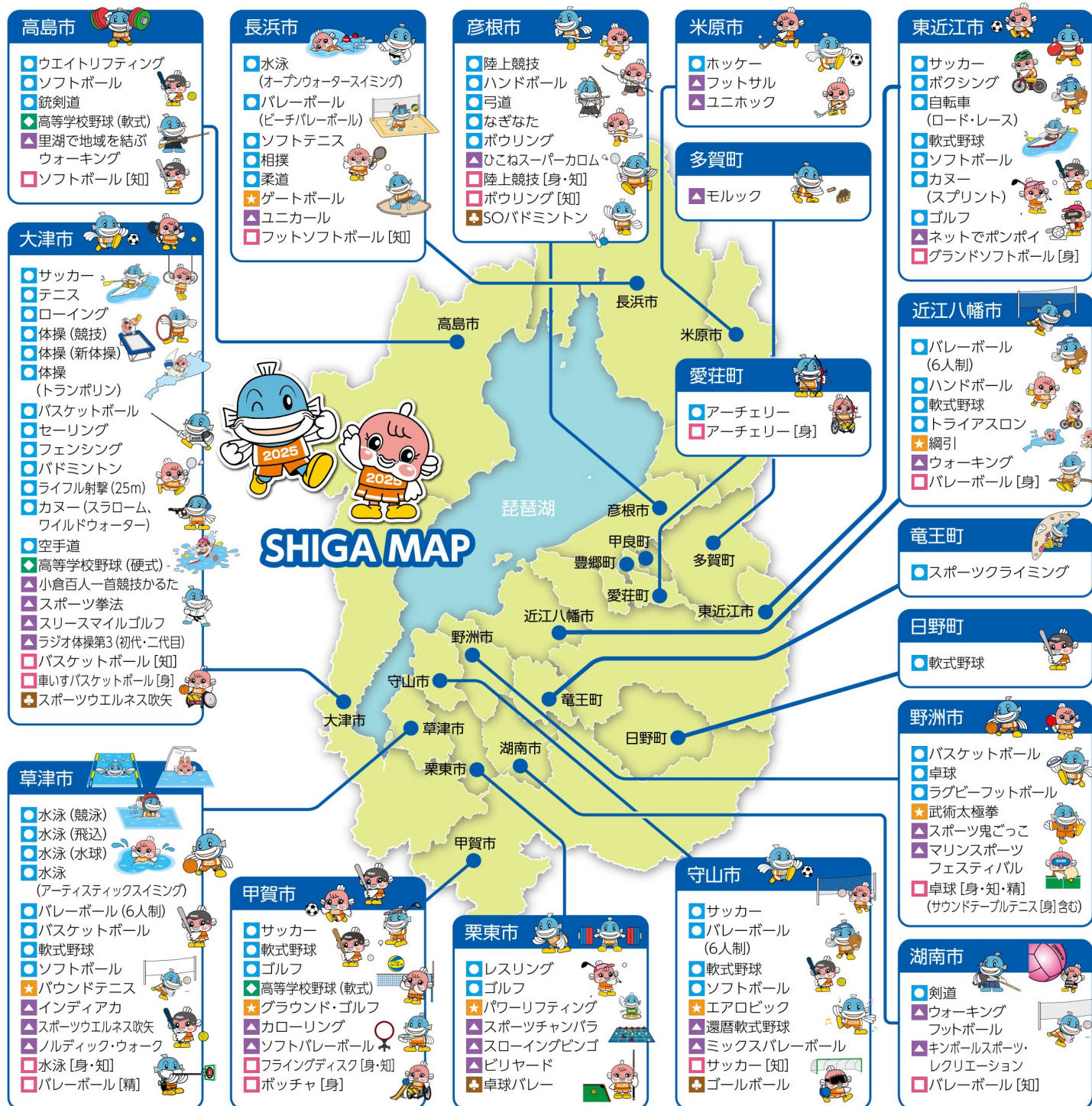
多額の募金をいただいた方を掲載しています。

このほか、多くの企業・団体・個人の皆様にご協力をいただいております。



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



国民スポーツ大会

- 正式競技(37競技)
- 特別競技(1競技)
- 公開競技(7競技)
- デモンストレーションスポーツ(26競技)

全国障害者スポーツ大会

- 正式競技(14競技)
- オープン競技(4競技)

[身] = 身体障害者 [知] = 知的障害者 [精] = 精神障害者

※国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。
※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

県外開催競技

京都府

向日市

- 自転車(トラック・レース)

大阪府

豊能郡能勢町

- ライフル射撃(50m、10m、BR・BP)

兵庫県

三木市

- 馬術

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

国スポ実施期間 令和7年 9月28日(日)~10月8日(水) [11日間開催]

国スポ会期前実施競技 令和7年9月6日(土)~9月15日(月)、令和7年9月21日(日)~9月25日(木)

障スポ実施期間 令和7年10月25日(土)~10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから!

滋賀2025

検索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

大会PR
動画を公開!

Instagram



X



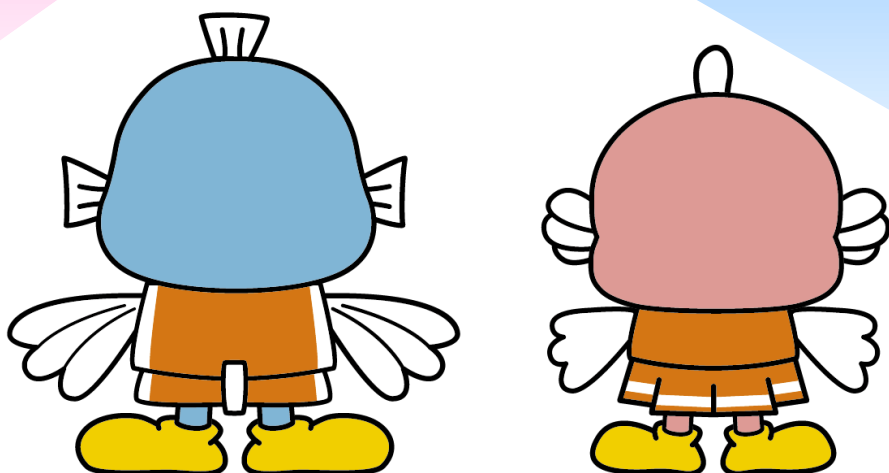
大会HP



さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技者と合わせてご覧ください。



●用紙: 責任ある木質資源を再生資源を使用したFSC® 認証用紙
●インキ: 植物油インキを使用



競技記録結果

わたSHIGA輝く国スポ（正式・特別・公開）
競技記録結果速報URL

▽PC・スマホURL

<https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html>



▽フィーチャーフォンURL

<http://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html>



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会